

畜産利用意向調査集計結果

(リサイクル飼料の利用)

平成21年度

平成22年3月

社団法人 日本養豚協会

調査結果の概要

平成21年度の調査は、平成20年度と同様に、農場単位で調査を実施しています。平成19年度までの調査では、1人で複数の農場を所有している経営者の場合、同一市町村内に農場が所在する場合は、1経営として、同一県内でも農場の所在が市町村や都道府県をまたがっている場合は別々の経営として調査していただいたので、平成19年度以前とは単純に比較できませんので御注意ください。

回答農場数は回答した農場の数を示し、回答数は、設問毎の回答数を示しているため、複数回答の設問については、回答数が回答農場数を上回る場合があります。

また、同じ項目でありながら回答数、回答農場数に差異が生じているのは、クロス集計（経営タイプが一貫生産の子取り用雌豚頭数規模別の事故率等）の場合、対応する項目の回答数、回答農場数が異なることによるものです。

1. 調査回答状況

平成21年度の調査は、平成21年8月1日現在都道府県養豚協会等が確認できている全ての養豚経営者又は農場責任者を対象に行った。

回答が得られたのは4,052農場（廃業等を含む）で全国集計結果の集計に使用したのは、回答の中から、廃業、無効を除いた3,881農場である。

2. 経営形態など

(1) 経営形態

	割合
個人経営	60.1%
農事組合法人	2.8%
有限会社	23.9%
合資会社・合名会社	0.1%
株式会社	8.1%
農協の直営農場	1.1%
契約農場・預託農場	2.3%
その他（都道府県、公益法人、学校法人等）	1.4%

(2) 経営タイプ

	割合
一貫経営	80.2%（前年78.8%）
繁殖経営	11.5%（同 12.9%）
肥育経営	8.3%（同 8.3%）

3. リサイクル飼料

リサイクル飼料を使用しているのは599農場（前年768農場）で全体の16.0%（前年19.3%）であり、前年よりも3.3ポイント減少している。

地域別では、複数回答で、

高い 東海：26.9% 近畿：55.0% 中国・四国：22.6%

低い 北海道・東北：10.1% 関東：16.7% 北陸：17.6% 九州・沖縄：12.8%

今後の意向は

現在使っている

現在使っていない

継続 67.4%

使用を始めたい 16.9%

拡大 29.0%

これからも使わない 83.1%

縮小 1.2%

中止 2.3%

4. チーズホエイ

使っている 32農場（前年 39農場）で前年に比べ減少している。

興味ある 738農場（同 747農場）で前年に比べ減少している。

5. 参考

飼料米

飼料米を現在使用しているのは99農場（前年43農場）で前年に比べ増加しているが、その割合は3.4%にとどまっている。

地域別では、

高い 北海道・東北：6.2% 北陸：4.6%

低い 関東：3.1% 東海：2.4% 近畿：1.5% 中国・四国：2.1% 九州・沖縄：1.9%

今後の意向では

現在使用している農場では、25農場が拡大したいとしており、4農場が中止を考えている。

これから使用を考えたいとしている農場は450農場ある。

1. 調査回答状況

●回答農場数・性別・年齢（地域別）

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
回答農場数（場）		4,052	916	1,208	107	263	81	271	1,206
性別（農場責任者の人）	回答数	3,881	873	1,147	103	259	80	253	1,166
	男	3,590	783	1,083	98	250	74	234	1,068
	女	99	20	20	1	3	4	4	47
	不明	192	70	44	4	6	2	15	51
平均年齢（歳）		57.5	57.3	57.4	59.0	56.5	60.5	57.7	57.6
年齢回答数		3,566	791	1,076	98	249	78	230	1,044

- 平成21年度の調査（平成21年8月1日現在）は、都道府県養豚協会等が確認できている全ての養豚経営者又は農場責任者を対象に行い、回答が得られたのは4,052農場（廃業等を含む。）である。
- 集計に使用したのは無効回答（休業中、アンケート項目に無回答等）と廃業を除く3,881農場である。
- 農場責任者の平均年齢は57.5歳である。地域別では、北陸59.0歳、近畿60.5歳、中国・四国57.7歳、九州・沖縄57.6歳が全国平均を上回っている。

●回答数・子取り用雌豚飼養規模別

		全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1,000頭以上
農場数	（場）	3,398	486	633	780	711	504	171	113
	（%）	100.0	14.3	18.6	23.0	20.9	14.8	5.0	3.3

●回答数・肉豚出荷頭数規模別

		全規模	1～399頭	400～999頭	1,000～1,999頭	2,000～3,999頭	4,000～9,999頭	10,000～19,999頭	20,000頭以上
農場数	（場）	3,359	648	612	738	644	495	138	84
	（%）	100.0	19.3	18.2	22.0	19.2	14.7	4.1	2.5

●経営者単位の所有農場数

	経営者数	1農場	2農場	3農場	4農場	5農場	6～10農場	11農場以上	2農場以上計	農場数平均
件数	3,646	3,545	52	25	10	6	6	2	101	1.1
割合	100.0	97.2	1.4	0.7	0.3	0.2	0.2	0.1	2.8	—

- 複数の農場を所有する経営者を1単位として集計（例えば、5農場を1人の経営者が所有している場合は1経営者としてカウント）した経営者数は3,646経営者である。ただし、同一経営者でも別名称の会社を所有している場合は別々に集計している。また、農場が地域をまたがって存在する事例があることから、地域別の集計は行っていない。
- 複数農場を所有する経営者数は101件で全体の2.8%である。
- 1経営者の所有する農場数の平均は1.1農場である。また、複数農場を所有する経営者の農場数の平均は3.3農場で、1経営者の所有する農場数が最も多いのは25農場である。

●経営者単位の子取り用雌豚飼養規模別

		全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1,000頭以上
経営者数	（場）	3,273	486	625	771	690	454	139	108
	（%）	100.0	14.8	19.1	23.6	21.1	13.9	4.2	3.3

●経営者単位の肉豚出荷頭数規模別

		全規模	1～399頭	400～999頭	1,000～1,999頭	2,000～3,999頭	4,000～9,999頭	10,000～19,999頭	20,000頭以上
経営者数	（場）	3,195	638	598	709	609	430	112	99
	（%）	100.0	20.0	18.7	22.2	19.1	13.5	3.5	3.1

2. 経営関係

●経営形態（地域別）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
1. 個人経営	(場)	2,334	537	712	59	171	55	145	655
	(%)	60.1	61.5	62.1	57.3	66.0	68.8	57.3	56.2
2. 農事組合法人	(場)	109	26	25	4	8	1	15	30
	(%)	2.8	3.0	2.2	3.9	3.1	1.3	5.9	2.6
3. 有限会社	(場)	928	200	318	34	62	8	57	249
	(%)	23.9	22.9	27.7	33.0	23.9	10.0	22.5	21.4
4. 合資会社	(場)	5	1	2	0	0	0	0	2
	(%)	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
5. 株式会社	(場)	315	79	53	3	16	9	23	132
	(%)	8.1	9.0	4.6	2.9	6.2	11.3	9.1	11.3
6. 農協の直営農場	(場)	43	4	4	0	0	0	1	34
	(%)	1.1	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	2.9
7. 会社、農協等の 契約・預託農場	(場)	91	13	23	0	1	0	2	52
	(%)	2.3	1.5	2.0	0.0	0.4	0.0	0.8	4.5
8. その他（公益法 人、学校等）	(場)	56	13	10	3	1	7	10	12
	(%)	1.4	1.5	0.9	2.9	0.4	8.8	4.0	1.0
合 計	(場)	3,881	873	1,147	103	259	80	253	1,166
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 経営形態は前年とは比較できない。これは設問の選択肢が異なるためである。

② 個人経営の割合が60.1%と最も高く、次いで有限会社が23.9%と高い。

③ 地域別に見ると、個人経営の割合が高いのは東海と近畿で、低いのは北陸、中国・四国、九州・沖縄である。

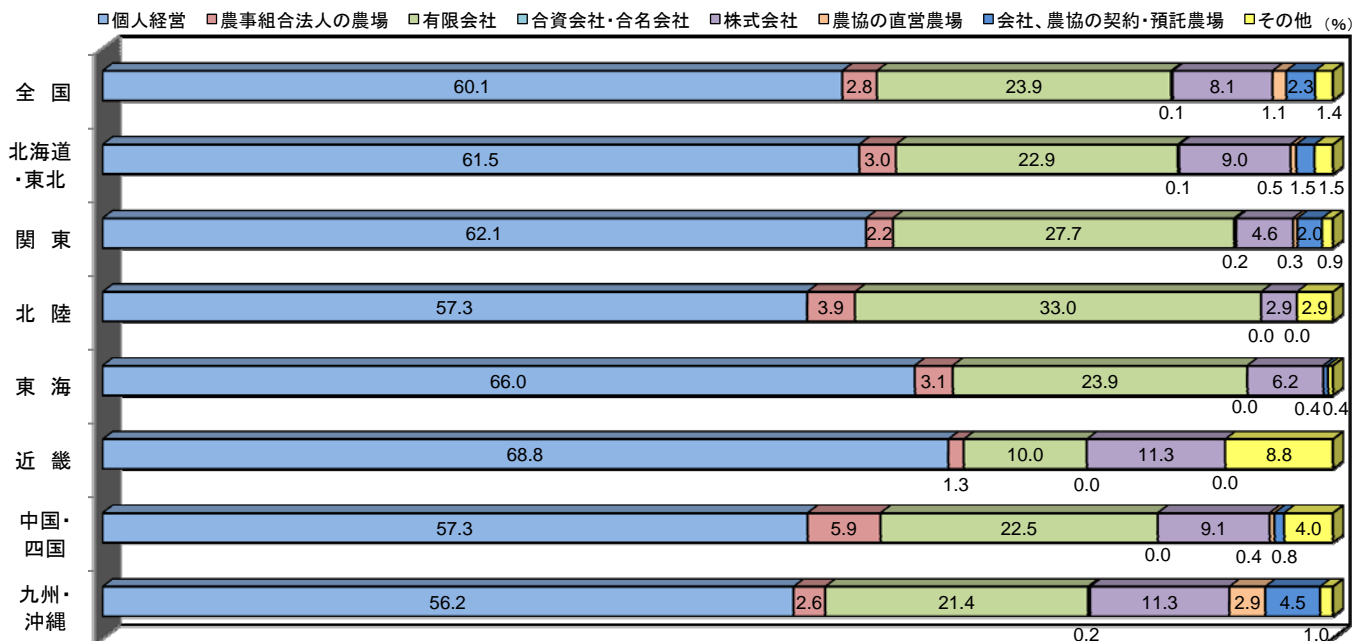
農事組合法人の割合が高いのは、中国・四国である。

有限会社の割合が高いのは関東と北陸で、低いのは近畿である。

株式会社の割合が高いのは近畿と九州・沖縄で、低いのは北陸である。

農協の直営農場の割合が高いのは九州・沖縄である。

契約や預託の割合が高いのは九州・沖縄である。



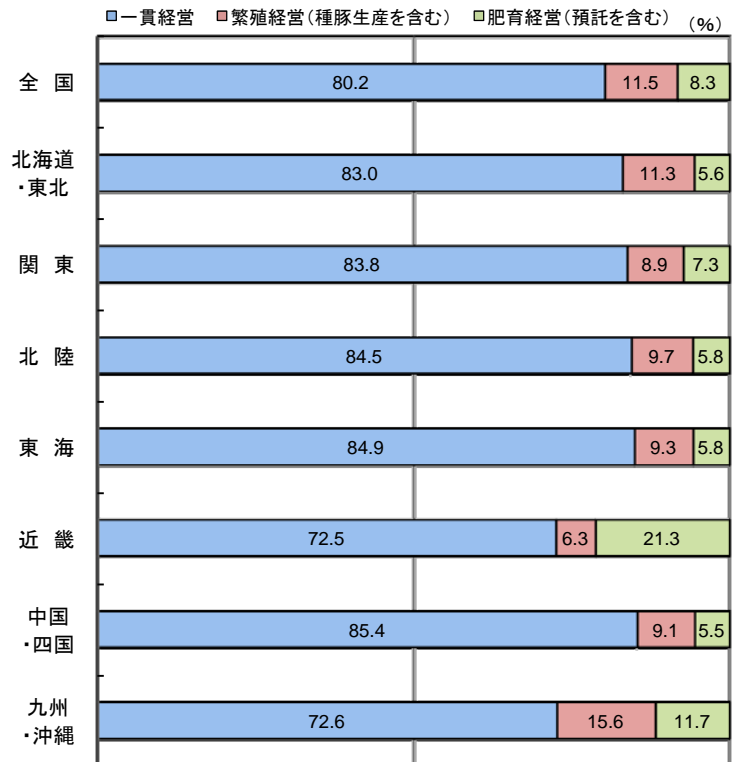
●経営タイプ（地域別）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
1. 一貫経営	(場)	3,114	725	961	87	220	58	216	847
	(%)	80.2	83.0	83.8	84.5	84.9	72.5	85.4	72.6
2. 繁殖経営	(場)	445	99	102	10	24	5	23	182
	(%)	11.5	11.3	8.9	9.7	9.3	6.3	9.1	15.6
3. 肥育経営	(場)	322	49	84	6	15	17	14	137
	(%)	8.3	5.6	7.3	5.8	5.8	21.3	5.5	11.7
合 計	(場)	3,881	873	1,147	103	259	80	253	1,166
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 経営タイプでは、一貫経営の割合が80.2%、繁殖経営が11.5%、肥育経営が8.3%と前年に比べて一貫経営が増加し、繁殖経営が減少している。前年初めて一桁の割合になった肥育経営には変化がない。

② 地域別では、一貫経営は関東が961農場と最も多いが、地域内割合では中国・四国85.4%、東海84.9%、北陸84.5%、関東83.8%と続き、低いのは近畿の72.5%、九州・沖縄の72.6%である。繁殖経営では九州・沖縄が182農場と全体の40.9%を占め、地域内割合も15.6%と最も高く、逆に最も低いのは近畿6.3%である。肥育経営でも九州・沖縄が137農場と全体の42.5%を占めているが、地域内割合では近畿21.3%に次いで九州・沖縄が11.7%となっている。地域内割合が最も低いのは中国・四国の5.5%である。

③ 経営タイプを経営者数で見ると、一貫経営が80.6%、繁殖経営が11.8%、肥育経営が7.5%である。



●肉豚の出荷頭数（★回答農場数=3,703）

	回答数	頭数合計	1農場当たり平均
年間肉豚出荷頭数	3,359	11,751,541	3,498.5

① 肉豚を出荷している農場は3,359農場で、年間（平成20年1～12月）の総出荷頭数は11,751,541頭で、1農場当たり平均3,498.5頭である。

② 子豚を出荷している農場は767農場で、年間（平成20年1～12月）の総出荷頭数は2,940,985頭で、1農場当たり平均3,834.4頭である。

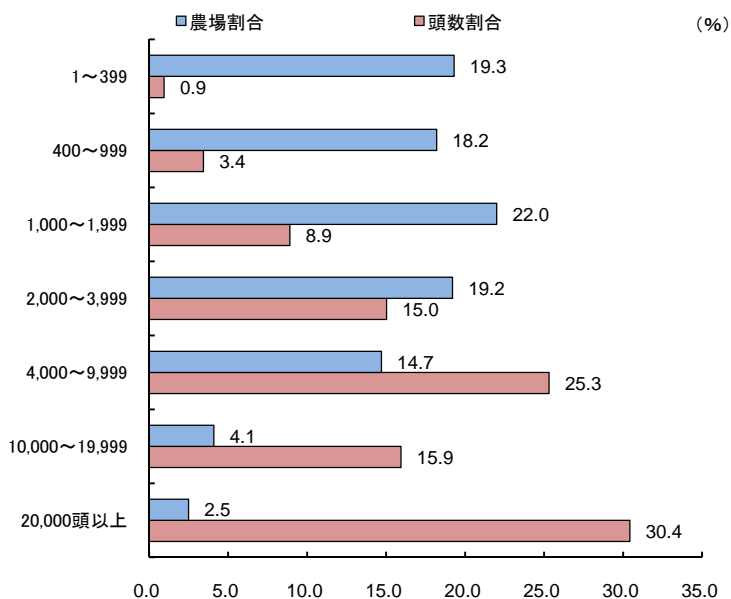
③ 種豚候補豚を出荷している農場は504農場で、年間（平成20年1～12月）の総出荷頭数は180,644頭で、1農場当たり平均358.4頭であり、繁殖豚年間廃用頭数227,777頭に比べて少ない。

●年間肉豚出荷頭数（平成20年1～12月の総頭数）規模別（★回答農場数＝3,359）

	回答数	回答数割合	頭数	頭数割合
1～399頭	648	19.3	111,079	0.9
400～999頭	612	18.2	404,058	3.4
1,000～1,999頭	738	22.0	1,047,275	8.9
2,000～3,999頭	644	19.2	1,765,782	15.0
4,000～9,999頭	495	14.7	2,974,644	25.3
10,000～19,999頭	138	4.1	1,873,593	15.9
20,000頭以上	84	2.5	3,575,110	30.4
合計	3,359	100.0	11,751,541	100.0

① 年間肉豚出荷頭数（平成20年1～12月の総頭数）を規模別階層で見ると、1,000～1,999頭の農場割合が22.0%と最も高く、次いで1～399頭19.3%、2,000～3,999頭19.2%等となっており、割合が低いのは20,000頭以上2.5%、10,000～19,999頭4.1%となっている。

② 一方、頭数割合では、20,000頭以上が30.4%、4,000～9,999頭が25.3%、10,000～19,999頭が15.9%で、この3階層の農場（21.3%）で出荷頭数の71.7%を占めている。



●年間肉豚出荷頭数規模別農場数割合（地域別、★回答農場数＝3,359）

	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
1～399頭	19.3	19.0	17.9	13.7	8.8	30.1	20.0	23.3
400～999頭	18.2	22.1	15.8	16.8	13.8	24.7	18.2	18.3
1,000～1,999頭	22.0	19.0	24.7	28.4	25.0	19.2	19.6	20.8
2,000～3,999頭	19.2	15.3	21.8	24.2	32.9	17.8	16.9	16.1
4,000～9,999頭	14.7	14.4	14.7	14.7	14.6	6.8	18.2	14.9
10,000～19,999頭	4.1	5.5	3.1	1.1	4.2	1.4	5.3	4.2
20,000頭以上	2.5	4.5	2.0	1.1	0.8	0.0	1.8	2.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

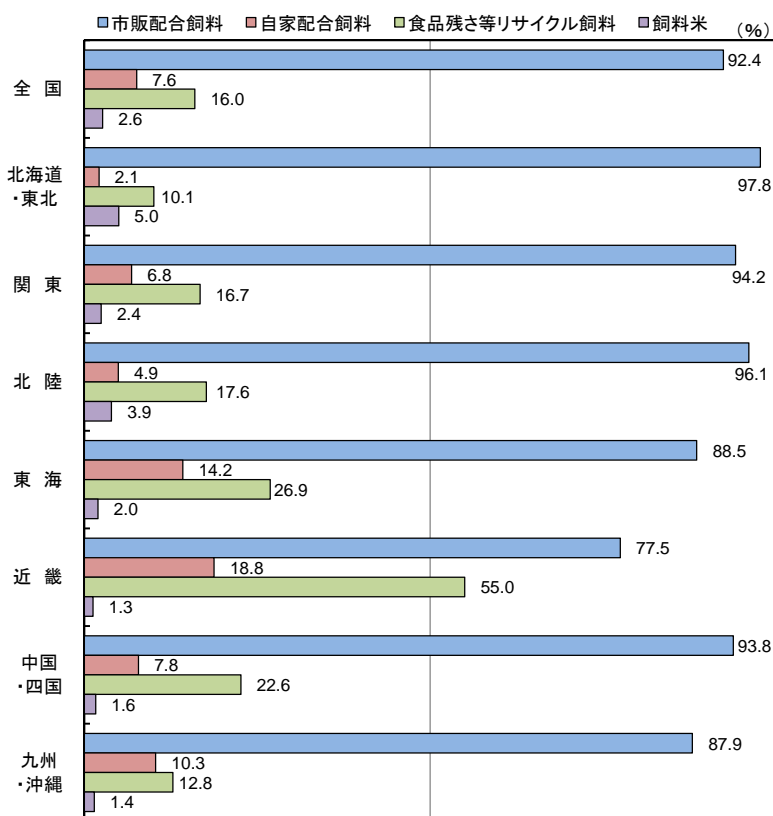
① 肉豚出荷頭数の規模別農場数割合を地域別で見ると、北海道・東北が大規模の割合が高く、近畿、九州・沖縄で小規模の割合が高い。

② 北陸、東海は、中規模の割合が高い。

3. リサイクル飼料

●現在使用している飼料（複数回答、地域別、★回答農場数=3,752）

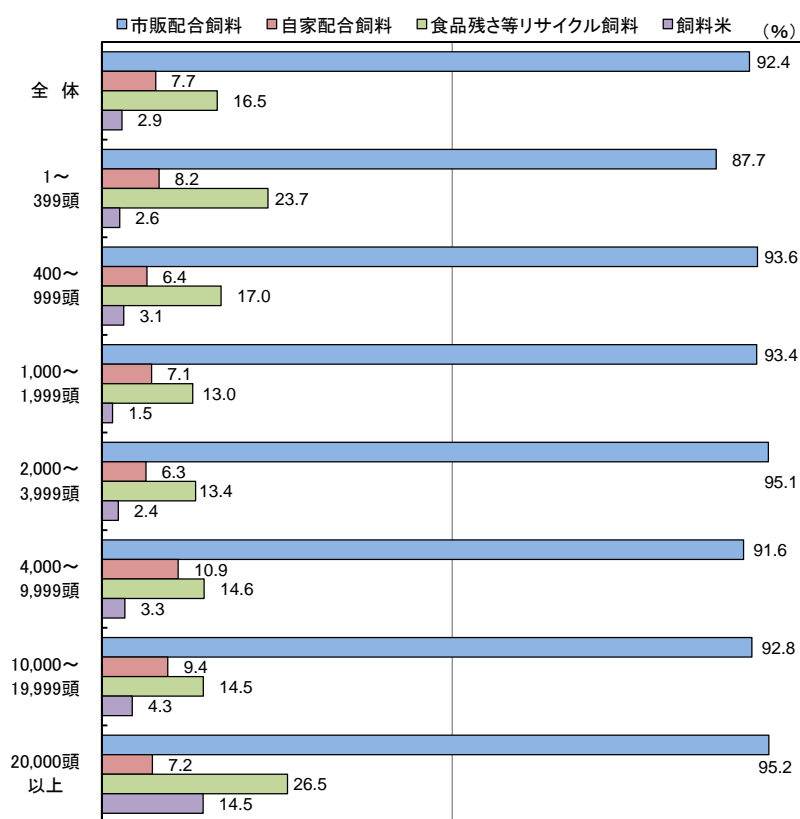
		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
市販配合飼料	(場)	3,467	826	1,047	98	224	62	228	982
	(%)	92.4	97.8	94.2	96.1	88.5	77.5	93.8	87.9
自家配合飼料	(場)	284	18	76	5	36	15	19	115
	(%)	7.6	2.1	6.8	4.9	14.2	18.8	7.8	10.3
食品残さ等 リサイクル飼料	(場)	599	85	186	18	68	44	55	143
	(%)	16.0	10.1	16.7	17.6	26.9	55.0	22.6	12.8
飼料米	(場)	99	42	27	4	5	1	4	16
	(%)	2.6	5.0	2.4	3.9	2.0	1.3	1.6	1.4
合 計	(場)	4,449	971	1,336	125	333	122	306	1,256
	(%)	118.6	114.9	120.1	122.5	131.6	152.5	125.9	112.4
回答農場数	(場)	3,752	845	1,112	102	253	80	243	1,117



- ① 養豚経営者が使用している飼料は、複数回答で「市販配合飼料」が92.4%（前年 93.3%）で前年に比べて0.9ポイント減少し、「自家配合飼料」7.6%（同 6.7%）で前年を0.9ポイント上回り、「リサイクル飼料」は16.0%（同 19.3%）で3.3ポイント減少している。また、「飼料米」の使用は2.6%（同 1.1%）で1.5ポイント上回っている。
- ② リサイクル飼料について、地域別に見ると、近畿が55.0%と最も割合が高く、次いで東海26.9%、中国・四国22.6%、北陸17.6%となっている。
- ③ リサイクル飼料の使用割合の推移は、平成15年10.0%、17年17.3%、18年13.9%、19年15.4%、20年19.3%、21年16.0%となっている。

●現在使用している飼料（複数回答、年間肉豚出荷頭数規模別、★回答農場数=3,288）

		全規模	1～ 399頭	400～ 999頭	1,000～ 1,999頭	2,000～ 3,999頭	4,000～ 9,999頭	10,000～ 19,999頭	20,000頭 以上
市販配合飼料	(場)	3,039	547	566	670	604	445	128	79
	(%)	92.4	87.7	93.6	93.4	95.1	91.6	92.8	95.2
自家配合飼料	(場)	253	51	39	51	40	53	13	6
	(%)	7.7	8.2	6.4	7.1	6.3	10.9	9.4	7.2
食品残さ等 リサイクル飼料	(場)	542	148	103	93	85	71	20	22
	(%)	16.5	23.7	17.0	13.0	13.4	14.6	14.5	26.5
飼料米	(場)	95	16	19	11	15	16	6	12
	(%)	2.9	2.6	3.1	1.5	2.4	3.3	4.3	14.5
合 計	(場)	3,929	762	727	825	744	585	167	119
	(%)	119.5	122.1	120.2	115.1	117.2	120.4	121.0	143.4
回答農場数	(場)	3,288	624	605	717	635	486	138	83



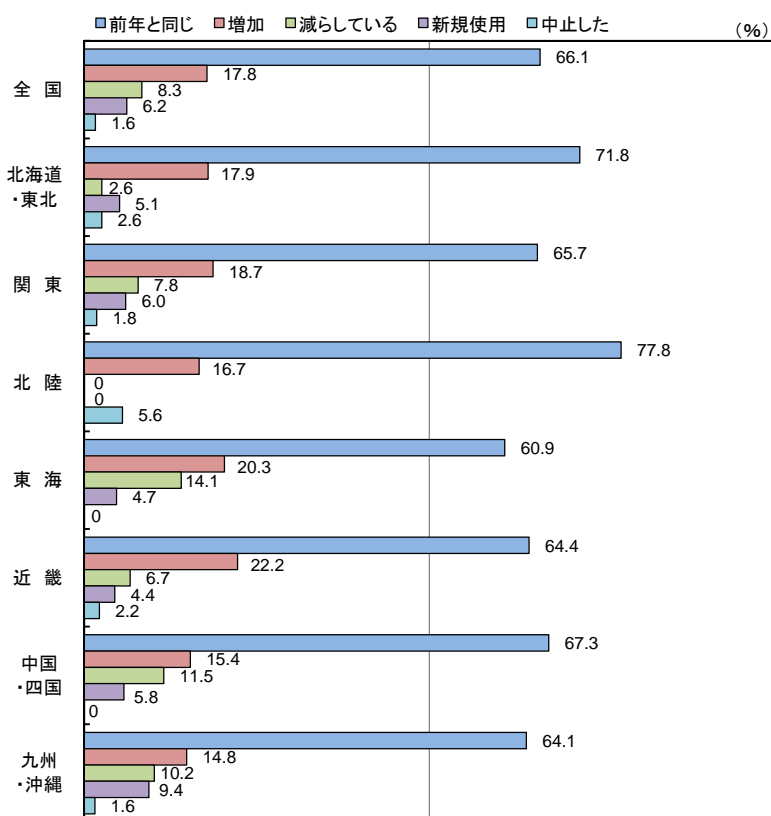
① 養豚経営者が使用している飼料を年間肉豚出荷頭数規模別で見ると、複数回答で「市販配合飼料」が92.4%、「自家配合飼料」7.7%、「リサイクル飼料」は16.5%である。また、「飼料米」の使用は2.9%である。

② リサイクル飼料について見ると、「20,000頭以上」が26.5%（前年16.9%）、「1～399頭」が23.7%（同32.8%）と高く、「1,000～1,999頭」が13.0%（同12.3%）と低い。「20,000頭以上」の使用割合は前年に比べて9.6ポイント上回り、「1～399頭」では9.1ポイント減少している。

③ 飼料米については、「20,000頭以上」の14.5%（前年9.1%）が最も高く、前年に比べて5.4ポイント上回っている。

●リサイクル飼料使用量の増減（前年比）（地域別、★回答農場数=551）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
前年と同じ	(場)	364	56	109	14	39	29	35	82
	(%)	66.1	71.8	65.7	77.8	60.9	64.4	67.3	64.1
前年より増加している	(場)	98	14	31	3	13	10	8	19
	(%)	17.8	17.9	18.7	16.7	20.3	22.2	15.4	14.8
前年より減らしている	(場)	46	2	13	0	9	3	6	13
	(%)	8.3	2.6	7.8	0.0	14.1	6.7	11.5	10.2
新たに使い始めた	(場)	34	4	10	0	3	2	3	12
	(%)	6.2	5.1	6.0	0.0	4.7	4.4	5.8	9.4
中止した	(場)	9	2	3	1	0	1	0	2
	(%)	1.6	2.6	1.8	5.6	0.0	2.2	0.0	1.6
合 計	(場)	551	78	166	18	64	45	52	128
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

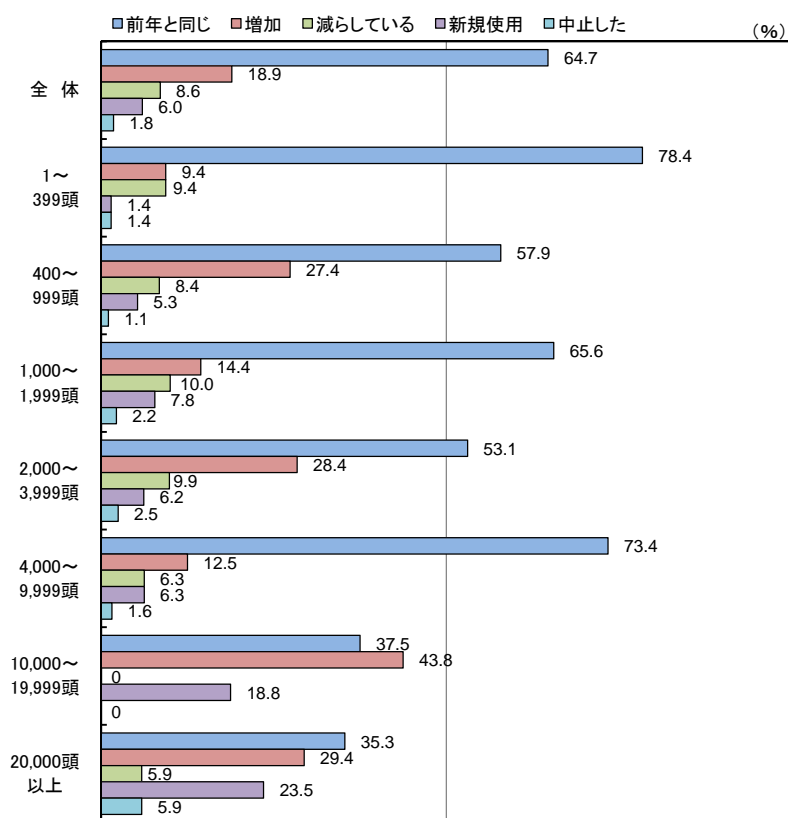


① リサイクル飼料使用量の増減を見ると、「前年と同じ」が66.1%で最も高く、「前年より増加している」が17.8%「新たに使用するようになった」が6.2%で、「増加」と「新規」が4分の1を占めており、「前年より減らしている」8.3%、「中止した」1.6%は低い。

② 地域別に見ると、「前年と同じ」の割合が高いのは北海道・東北と北陸で、「前年より増加している」割合が高いのは東海と近畿で、「新たに使用するようになった」割合が高いのは九州・沖縄である。

●リサイクル飼料使用量の増減（前年比）（複数回答、年間肉豚出荷頭数規模別、★回答農場数=502）

		全規模	1～ 399頭	400～ 999頭	1,000～ 1,999頭	2,000～ 3,999頭	4,000～ 9,999頭	10,000～ 19,999頭	20,000頭 以上
前年と同じ	(場)	325	109	55	59	43	47	6	6
	(%)	64.7	78.4	57.9	65.6	53.1	73.4	37.5	35.3
前年より増加している	(場)	95	13	26	13	23	8	7	5
	(%)	18.9	9.4	27.4	14.4	28.4	12.5	43.8	29.4
前年より減らしている	(場)	43	13	8	9	8	4	0	1
	(%)	8.6	9.4	8.4	10.0	9.9	6.3	0.0	5.9
新たに使い始めた	(場)	30	2	5	7	5	4	3	4
	(%)	6.0	1.4	5.3	7.8	6.2	6.3	18.8	23.5
中止した	(場)	9	2	1	2	2	1	0	1
	(%)	1.8	1.4	1.1	2.2	2.5	1.6	0.0	5.9
合計	(場)	502	139	95	90	81	64	16	17
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

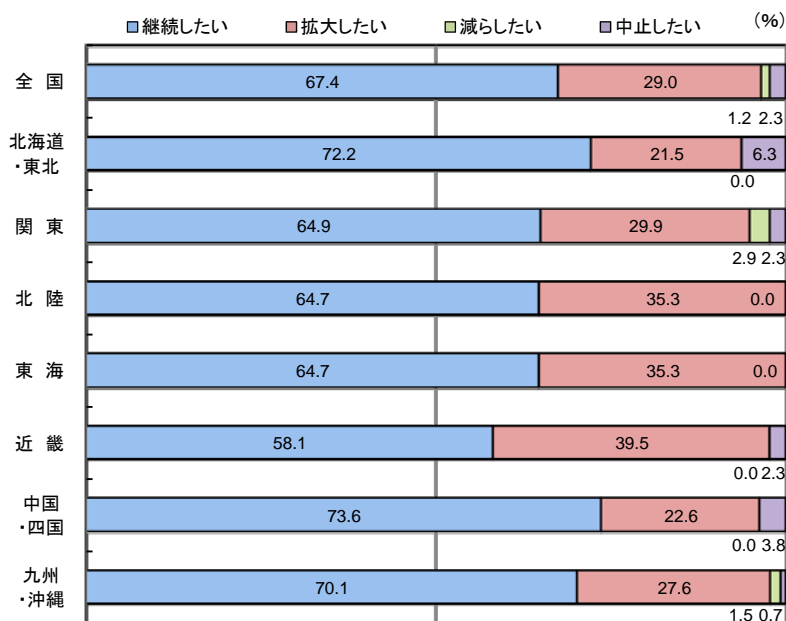


① 年間肉豚出荷頭数規模別でリサイクル飼料使用量の増減を見ると、「前年と同じ」が64.7%で最も高く、「前年より増加している」が18.9%、「新たに使用するようになった」が6.0%で、「増加」と「新規」が4分の1を占めており、「減らしている」8.6%、「中止した」1.8%は低い。

② 年間出荷頭数規模別では、「前年と同じ」の割合が高いのは「1～399頭」78.4%、「前年より増加している」割合が高いのは「10,000～19,999頭」43.8%、前年より減らしている割合が高いのは「1,000～1,999頭」10.0%である。また、「新たに使用するようになった」割合が高いのは「20,000頭以上」23.5%で、「中止した」割合が高いのも「20,000頭以上」5.9%である。

●リサイクル飼料を利用している農場の今後の意向（地域別、★回答農場数=568）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
このまま継続したい	(場)	383	57	113	11	44	25	39	94
	(%)	67.4	72.2	64.9	64.7	64.7	58.1	73.6	70.1
拡大したい	(場)	165	17	52	6	24	17	12	37
	(%)	29.0	21.5	29.9	35.3	35.3	39.5	22.6	27.6
減らしたい	(場)	7	0	5	0	0	0	0	2
	(%)	1.2	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
中止したい	(場)	13	5	4	0	0	1	2	1
	(%)	2.3	6.3	2.3	0.0	0.0	2.3	3.8	0.7
合 計	(場)	568	79	174	17	68	43	53	134
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

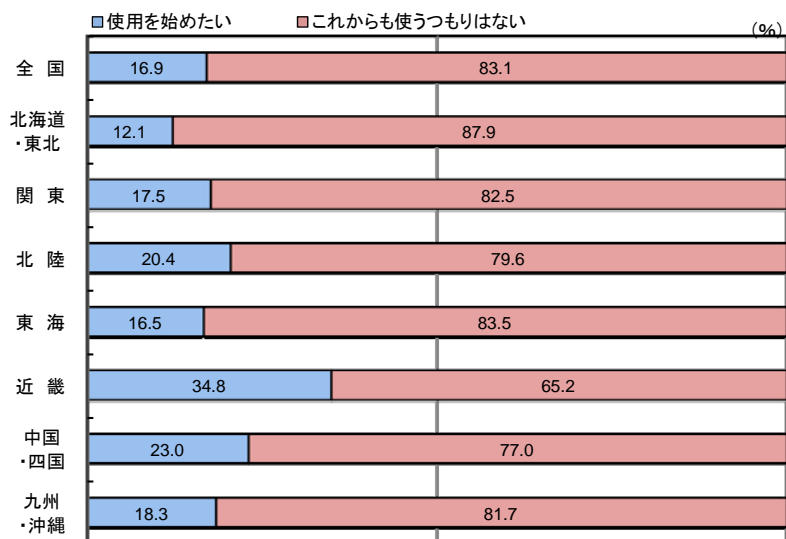


① リサイクル飼料を現在使用している農場の今後の意向については、「このまま継続したい」が 67.4%で最も高く、次いで「拡大したい」が 29.0%である。「減らしたい」「中止したい」は合わせて 3.5%である。

② 地域別では、いずれの地域でも「このまま継続したい」の割合が最も高く、特にその割合が高いのは北海道・東北、中国・四国、九州・沖縄である。「拡大したい」の割合が高いのは北陸、東海、近畿であり、「減らしたい」と「中止したい」の合計の割合が高いのは北海道・東北、関東である。

●リサイクル飼料を利用していない農場の今後の意向（地域別、★回答農場数=2,007）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
新たに使用を始めた	(場)	340	61	101	11	19	8	28	112
	(%)	16.9	12.1	17.5	20.4	16.5	34.8	23.0	18.3
今後も使うつつもりはない	(場)	1,667	444	475	43	96	15	94	500
	(%)	83.1	87.9	82.5	79.6	83.5	65.2	77.0	81.7
合 計	(場)	2,007	505	576	54	115	23	122	612
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



① リサイクル飼料を現在使用していない農場の今後の意向については、「新たに使用を始めたい」が 16.9%、340農場ある。

② 地域別では、「新たに使用を始めたい」割合が高いのは近畿で、低いのは北海道・東北である。

●チーズホエイの給与（地域別、★回答農場数=3,619）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
給与している	(場)	32	14	12	0	0	1	0	5
	(%)	0.9	1.7	1.1	0.0	0.0	1.4	0.0	0.5
給与の割合（平均）		4.5	9.2	1.8	—	—	—	—	1.6
していない	(場)	3,587	815	1,063	101	240	72	230	1,066
	(%)	99.1	98.3	98.9	100.0	100.0	98.6	100.0	99.5
合 計	(場)	3,619	829	1,075	101	240	73	230	1,071
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① チーズホエイを給与しているのは32農場（前年39農場）で、この項目に回答のあった農場の0.9%（同1.0%）である。給与している農場の割合は非常に低く、前年より減少している。また、給与している量は飼料全体量の4.5%（前年6.8%）である。

② 地域別では、北海道・東北が14農場で最も多く、次いで関東12農場、九州・沖縄5農場、近畿1農場であり、北陸、東海、中国・四国では給与している農場はない。

●チーズホエイを給与する目的（地域別、割合、★回答農場数=29）

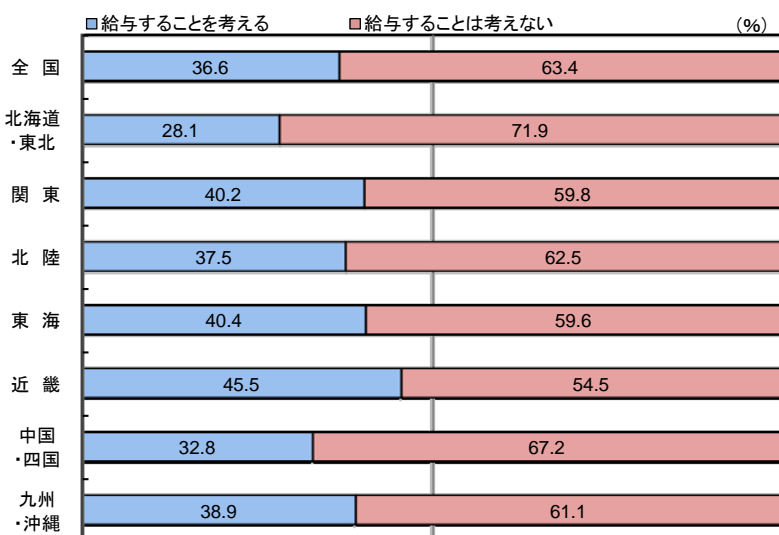
	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
飼料費節減のため	44.8	28.6	70.0	—	—	0.0	—	50.0
肉質改善のため	31.0	42.9	10.0	—	—	100.0	—	25.0
飲料水代わり	3.4	7.1	0.0	—	—	0.0	—	0.0
その他	20.7	21.4	20.0	—	—	0.0	—	25.0
合 計	100.0	100.0	100.0	—	—	100.0	—	100.0

① チーズホエイを給与する目的は、「飼料費節減のため」が44.8%（前年33.3%）で最も高く、次いで「肉質改善のため」が31.0%（同42.9%）と続いている。

② 地域別では、関東と九州・沖縄では「飼料費節減のため」が優位を占め、北海道・東北と近畿では「肉質改善のため」が優位を占めている。

●チーズホエイが安価・定量入手可能の場合のチーズホエイに対する興味（地域別、★回答農場数=2,016）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
給与することを考える	(場)	738	131	239	21	63	20	42	222
	(%)	36.6	28.1	40.2	37.5	40.4	45.5	32.8	38.9
給与することを考えない	(場)	1,278	336	356	35	93	24	86	348
	(%)	63.4	71.9	59.8	62.5	59.6	54.5	67.2	61.1
合 計	(場)	2,016	467	595	56	156	44	128	570
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



① チーズホエイが安価・定量入手可能の場合のチーズホエイに対する肉豚への給与を考えるか、考えないかでは、「給与することを考える」が36.6%（前年29.9%）であり、前年を6.7ポイント上回っている。

② 地域別で、「給与することを考える」の回答農場に対する割合が高いのは、関東、東海、近畿であるが、農場数が多いのは、北海道・東北、関東、九州・沖縄である。

4. 飼料米

●飼料米の使用の有無（地域別、★回答農場数=2,929）

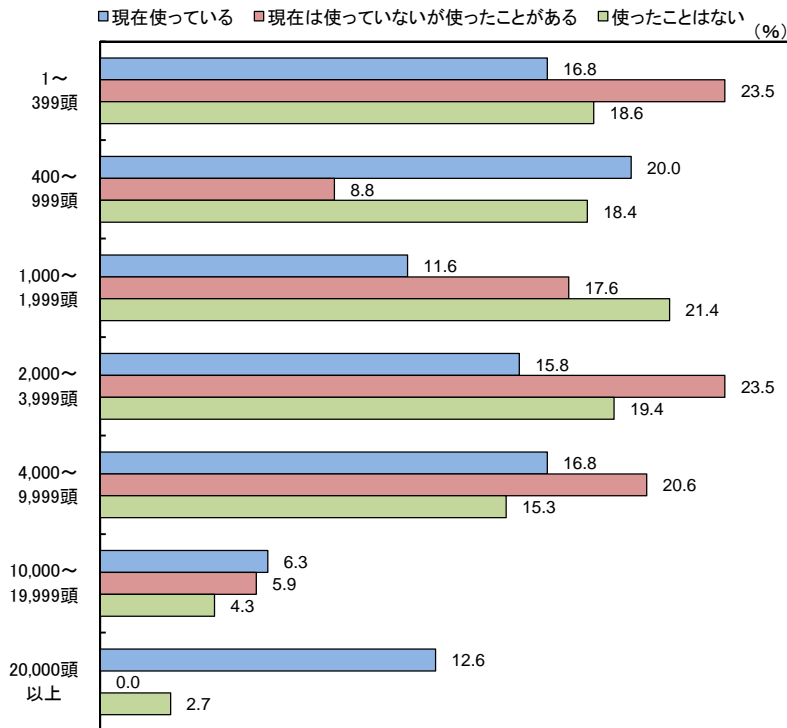
		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
現在使っている	(場)	99	42	27	4	5	1	4	16
	(%)	3.4	6.2	3.1	4.6	2.4	1.5	2.1	1.9
現在は使っていないが使ったことがある	(場)	34	5	13	1	2	3	2	8
	(%)	1.2	0.7	1.5	1.1	1.0	4.5	1.1	1.0
使ったことはない	(場)	2,796	630	825	82	202	62	182	813
	(%)	95.5	93.1	95.4	94.3	96.7	93.9	96.8	97.1
合 計	(場)	2,929	677	865	87	209	66	188	837
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 飼料米の使用の有無については、「現在使っている」のは99農場（回答のあった農場の3.4%）であり、「現在は使っていないが使ったことがある」は34農場（同1.2%）である。
- ② 「現在使っている」農場は、前年の43農場から2.3倍に増加している。
- ③ 地域別では、「現在使っている」農場は、北海道・東北で42農場（同6.2%）、関東で27農場（同3.1%）、九州・沖縄で16農場（同1.9%）、東海で5農場（同2.4%）、北陸と中国・四国で各4農場（同4.6%、2.1%）、近畿で1農場（同1.5%）である。

●飼料米の使用の有無（年間肉豚出荷頭数規模別、★回答農場数=2,614）

		全規模	1 ~ 399頭	400 ~ 999頭	1,000~ 1,999頭	2,000~ 3,999頭	4,000~ 9,999頭	10,000~ 19,999頭	20,000頭 以 上
現在使っている	(場)	95	16	19	11	15	16	6	12
	(%)	3.6	3.3	4.0	2.0	3.0	4.0	5.2	15.4
現在は使っていないが使ったことがある	(場)	34	8	3	6	8	7	2	0
	(%)	1.3	1.6	0.5	1.1	1.6	1.7	1.7	0.0
使ったことはない	(場)	2,485	462	456	533	481	380	107	66
	(%)	95.1	95.1	95.4	96.9	95.4	94.3	93.0	84.6
合 計	(場)	2,614	486	478	550	504	403	115	78
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

	現在使っている	現在は使っていないが 使ったことがある	使ったことはない	回答農場数
1~399頭	16.8	23.5	18.6	486
400~999頭	20.0	8.8	18.4	478
1,000~1,999頭	11.6	17.6	21.4	550
2,000~3,999頭	15.8	23.5	19.4	504
4,000~9,999頭	16.8	20.6	15.3	403
10,000~19,999頭	6.3	5.9	4.3	115
20,000頭以上	12.6	0.0	2.7	78
合 計	100.0	100.0	100.0	2,614



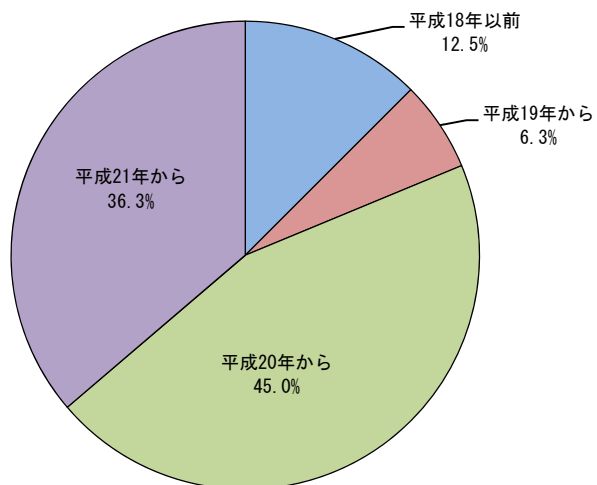
- ① 飼料米の使用の有無について、年間肉豚出荷頭数規模別に見ると、「現在使っている」の割合が最も高いのは、「400～999頭」20.0%である。
- ② 「現在は使っていないが使ったことがある」の割合が最も高いのは、「1～399頭」と「2,000～3,999頭」23.5%で、低いのは「10,000～19,999頭」5.9%である。
- ③ 「使ったことがない」では、「10,000～19,999頭」以上で割合が急激に小さくなっている。

●飼料米をいつから使っているか（地域別、★回答農場数＝80）

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
平成18年以前	(場)	10	3	3	1	1	0	1	1
	(%)	12.5	7.7	14.3	25.0	33.3	0.0	25.0	12.5
平成19年から	(場)	5	3	0	0	0	0	0	2
	(%)	6.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
平成20年から	(場)	36	17	11	2	2	0	3	1
	(%)	45.0	43.6	52.4	50.0	66.7	0.0	75.0	12.5
平成21年から	(場)	29	16	7	1	0	1	0	4
	(%)	36.3	41.0	33.3	25.0	0.0	100.0	0.0	50.0
合計	(場)	80	39	21	4	3	1	4	8
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

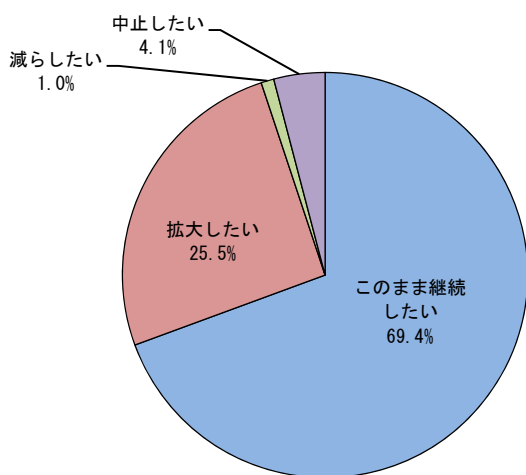
① 飼料米をいつから使っているかでは、「平成18年以前」が10農場(12.5%)、「平成19年から」が5農場(6.3%)、「平成20年から」が36農場(45.0%)、「平成21年から」が29農場(36.3%)である。
「平成20年から」と「平成21年から」を合わせると65農場(81.3%)になる。

② 地域別では、「平成21年から」の割合が高いのは、近畿と九州・沖縄である。

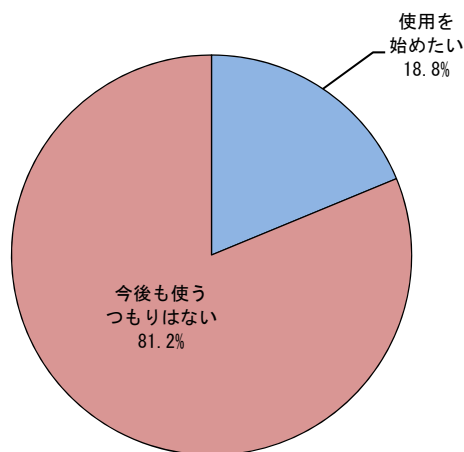


●飼料米の今後の利用意向と拡大量（★回答農場数=2,494）

	回答農場数	割合	飼料米量（t）	飼料米量 回答農場数
現在使用している	98	3.9	—	—
このまま継続したい	68	69.4	総使用量 約 6,261.1t	42
拡大したい	25	25.5	希望増量 約 1,133.0t	18
減らしたい	1	1.0	—	0
中止したい	4	4.1	中止予定量 約 10.0t	4
現在使用していない	2,398	96.2	—	—
使用を始めたい	450	18.8	新規総量 約 36,789.0t	233
今後も使うつもりはない	1,948	81.2	—	—
合 計	2,494	100.0	—	—



現在使用している農場



現在使用していない農場

① 飼料米の今後の意向について、回答のあった 2,494 農場で見ると、現在使用している 98 農場のうち、「このまま継続したい」が 68 農場、「拡大したい」が 25 農場で、これを合わせた 93 農場（回答のあった農場の 94.9%）が今後も飼料米を使用するとしている。使用を「減らしたい」と「中止したい」は、合わせて 5 農場（同 5.1%）である。継続使用量の合計は約 6,261 t で、拡大量の合計は約 1,133 t である。

② 一方、現在使用していない 2,398 農場のうち、450 農場が「使用を始めたい」としており、回答のあった農場の 18.8% を占め、使用予定量の合計は約 36,789 t である。

集計表
1. 全国集計

合計提出数	有効	無効	廃棄
4,052	3,881	25	146

I. 経営者の情報
1. 農場責任者の年齢

	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
29歳以下		33	0.9	26.2	29	21
30～39歳		201	5.2	35.7	39	30
40～49歳		520	13.4	45.6	49	40
50～59歳		1,264	32.6	55.2	59	50
60～69歳		1,058	27.3	63.3	69	60
70歳以上		490	12.6	74.7	90	70
不明		315	8.1	—	—	—
合計	3,881	3,881	100.0	57.5	90	21

2. 性別

	回答農場数	回答数	割合 (%)
男		3,590	92.5
女		99	2.6
不明		192	4.9
合計	3,881	3,881	100.0

II. 経営形態

	回答農場数	回答数	割合 (%)
1 個人経営（家族労働主体）（契約農場、預託農場を除く）		2,334	60.1
2 農事組合法人の農場		109	2.8
3 有限会社（LLC法人を含む）	928	928	23.9
ア 有限会社〇〇養豚等		803	86.5
イ 有限会社□□養豚の△△農場等		125	13.5
4 合資会社・合名会社	5	5	0.1
ア 合資会社・合名会社 〇〇養豚等		4	80.0
イ 合資会社・合名会社 □□養豚の△△農場等		1	20.0
5 株式会社	315	315	8.1
ア 株式会社 〇〇養豚等		145	46.0
イ 株式会社 □□養豚の△△農場等		170	54.0
6 農業協同組合法人（農協等）の直営養豚場	43	43	1.1
7 会社、農協、民間養豚場等の契約農場	22	22	0.6
8 会社、農協、民間養豚場等の預託農場	69	69	1.8
9 その他（都道府県、公益法人、学校法人等上記1から8以外）	56	56	1.4
合計	3,881	3,881	100.0

III. 経営タイプ

	回答農場数	回答数	割合 (%)	子取り用雌豚飼養頭数計	頭数割合
1 一貫経営		3,114	80.2	622,517	92.9
ア 一貫経営の繁殖農場	3,114	79	2.5	50,001	
A 純粋種豚生産農場	79	6	7.6	1,059	
B 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場		23	29.1	10,522	
C 子取り用雌豚生産農場		18	22.8	21,815	
D 肉用子豚の生産農場		32	40.5	16,605	
イ 一貫経営の子豚育成農場		31	1.0	19,418	
ウ 一貫経営の肥育農場		73	2.3	1,535	
エ 一貫経営の一貫生産農場		2,928	94.0	551,506	
オ 一貫経営の豚人工授精所		3	0.1	57	
2 繁殖経営	445	445	11.5	45,724	6.8
ア 純粋種豚生産農場		24	5.4	1,461	
イ 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場		47	10.6	4,031	
ウ 子取り用雌豚生産農場		59	13.3	8,457	
エ 肉用子豚の生産農場		313	70.3	31,775	
オ 豚人工授精所		2	0.4	0	
3 肥育経営		322	8.3	1,936	0.3
合計	3,881	3,881	100.0	670,177	100.0

IV. 飼養頭数（平成21年8月1日現在）

♀子取り用雌豚（育成豚を除く）品種・品種組み合わせ別頭数

	回答農場数	回答数	割合 (%)	頭数合計	頭数割合	全頭数割合	平均値	最大値	最小値
純粋種	ランドレース/L	833	24.5	21,509	23.8	3.2	26	710	1
	大ヨークシャー/W	577	17.0	17,614	19.5	2.6	31	911	1
	中ヨークシャー/Y	25	0.7	236	0.3	0.0	9	33	1
	バークシャー/B	489	14.4	41,384	45.7	6.2	85	4,500	1
	デュロック/D	559	16.5	4,256	4.7	0.6	8	120	1
	ホルフショー/H	9	0.3	83	0.1	0.0	9	50	1
	その他	82	2.4	5,471	6.0	0.8	67	740	1
小計	1,633	2,574	75.8	90,553	100.0	13.5	55	4,500	1
交雑種	LW	1,803	53.1	229,257	39.6	34.2	127	2,804	1
	WL	585	17.2	79,207	13.7	11.8	135	6,608	1
	LW、WL何れか	320	9.4	99,527	17.2	14.9	311	11,600	1
	その他の組合せ	282	8.3	43,605	7.5	6.5	155	4,860	1
	海外ハイブリッド	372	10.9	128,028	22.1	19.1	344	5,000	2
小計	2,861	3,362	98.9	579,624	100.0	86.5	203	11,600	1
合計	3,398	5,936	174.7	670,177	—	100.0	197	13,200	1
子取り用雌豚飼養頭数規模別	1～19頭	486	14.3	4,555	—	0.7	9	19	1
	20～49頭	633	18.6	20,720	—	3.1	33	49	20
	50～99頭	780	23.0	55,069	—	8.2	71	99	50
	100～199頭	711	20.9	95,556	—	14.3	134	199	100
	200～499頭	504	14.8	152,321	—	22.7	302	496	200
	500～999頭	171	5.0	115,694	—	17.3	677	998	500
	1,000頭以上	113	3.3	226,262	—	33.8	2,002	13,200	1,000
合計	3,398	3,398	100.0	670,177	—	100.0	197	13,200	1

V. 出荷頭数等（平成20年1～12月の総頭数）

	回答農場数	回答数	割合 (%)	頭数合計	平均値	最大値	最小値
年間肉豚出荷頭数		3,359	—	11,751,541	3,498.5	250,000	1
1～399頭		648	19.3	111,079	171.4	399	1
400～999頭		612	18.2	404,058	660.2	994	400
1,000～1,999頭		738	22.0	1,047,275	1,419.1	1,995	1,000
2,000～3,999頭		644	19.2	1,765,782	2,741.9	3,990	2,000
4,000～9,999頭		495	14.7	2,974,644	6,009.4	9,981	4,000
10,000～19,999頭		138	4.1	1,873,593	13,576.8	19,853	10,000
20,000頭以上		84	2.5	3,575,110	42,560.8	250,000	20,000
合計	3,359	3,359	100.0	11,751,541	3,498.5	250,000	1

VI. 給与飼料

1 現在使用している飼料について（アからエの中から○はいくつでも）

	回答農場数	回答数	割合 (%)
ア 市販配合飼料※1		3,467	92.4
イ 自家配合飼料※2		284	7.6
ウ 食品残さ等リサイクル飼料※3		599	16.0
エ 飼料米※4		99	2.6
合 計	3,752	4,449	118.6

※1 配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む

※2 単味飼料等の原料を調達して自ら配合・調製したもの

※3 食品製造物、食品加工残さ、調理残さ、期限切れ加工食品、農産物残さ、厨芥等およびこれらを原料として加熱乾燥、発酵、液状化（リキッド）等の処理により飼料化したもの。
なお、市販飼料に含まれているものを使用している場合を除く

※4 市販の配合飼料に含まれているものを使用している場合を除く

2 食品残さ等、リサイクル飼料を現在使用している方及び昨年まで使用していた方に伺います、前年に比べての増・減（○は1つだけ）

	回答農場数	回答数	割合 (%)
ア リサイクル飼料の使用量は前年と同じ		364	66.1
イ リサイクル飼料の使用量が前年より増加している		98	17.8
ウ リサイクル飼料の使用量を前年より減らしている		46	8.3
エ 平成20年8月1日以降新たにリサイクル飼料を使用するようになった		34	6.2
オ 平成20年8月1日以降リサイクル飼料の使用を中止した		9	1.6
合 計	551	551	100.0

3 現在チーズホエイを豚に給与していますか（ア、イのどちらかに○）

	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
ア 給与している（A～D ○は1つ）		32	0.9	—	—	—
全体に占める割合 %		16		4.5	20.0	0.1
A 飼料費節減のため	29	13	44.8	—	—	—
B 肉質改善のため		9	31.0	—	—	—
C 飲料水代わり		1	3.4	—	—	—
D その他		6	20.7	—	—	—
イ 給与していない（A、B どちらかに○）		3,587	99.1	—	—	—
A 安価・定量で入手可能であれば、豚に給与することを考える	2,016	738	36.6	—	—	—
B 安価・定量で入手可能であっても、豚に給与することは考えない		1,278	63.4	—	—	—
合 計	3,619	3,619	100.0	—	—	—

4 リサイクル飼料の今後の利用意向（○は1つだけ）

	回答農場数	回答数	割合 (%)
ア リサイクル飼料の利用をこのまま継続したい		383	14.9
イ リサイクル飼料の利用を拡大したい		165	6.4
ウ 新たにリサイクル飼料の使用を始めたい		340	13.2
エ リサイクル飼料の使用割合を減らしたい		7	0.3
オ リサイクル飼料の使用を中止したい		13	0.5
カ これからもリサイクル飼料を使うつもりはない		1,667	64.7
合 計	2,575	2,575	100.0

5 飼料米について（配合飼料に含まれているものは除く）

ア 飼料米の使用の有無について伺います（AからCの中から1つ○を記入するとともにA、Bに○の場合は年数を記入）

	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 現在使っている		99	3.4	—	—	—
開始年		80		—	—	—
平成18年以前		10	12.5	—	—	—
19年		5	6.3	—	—	—
20年		36	45.0	—	—	—
21年		29	36.3	—	—	—
B 現在は使っていないが使ったことがある		34	1.2	—	—	—
使用期間		16		2.3	18	0
C 使ったことはない		2,796	95.5	—	—	—
合 計	2,929	2,929	100.0	—	—	—

イ 飼料米の今後の利用意向（AからFの該当する総てに○するとともに数値を記入）

	回答農場数	回答数	割合 (%)	数値合計	平均値	最大値	最小値
A 飼料米の利用をこのまま継続したい		68	2.7	—	—	—	—
年間使用量 トン		42		6,261.1	149.1	4,000	0.1
B 飼料米の利用を拡大したい		25	1.0	—	—	—	—
年間 トン		18		1,133.0	62.9	200	8.0
C 新たに飼料米の使用を始めたい		450	18.0	—	—	—	—
年間 トン		233		36,789.0	157.9	2,000	1.0
D 飼料米の使用割合を減らしたい		1	0.0	—	—	—	—
年間 トン		0		0.0	#DIV/0!	0	0.0
E 飼料米の使用を中止したい		4	0.2	—	—	—	—
現在の年間使用量 トン		4		10.0	2.5	7	1.0
F これからも飼料米を使うつもりはない		1,948	78.1	—	—	—	—
合 計	2,494	2,496	100.1	—	—	—	—

2. ブロック別・経営者単位の所有農場数別・子取り用雌豚頭数規模別・年間肉豚出荷頭数規模別・

ブロック別	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
	3,881	100.0		873	22.5		1,147	29.6	
経営者単位の所有農場数別	全 体			1場			2場		
	経営者数	3,646		3,545		52			
	%	100.0		97.2		1.4			
年間肉豚出荷頭数規模別	全 体			1~399頭			400~999頭		
	回答数	3,359		648		612			
	%	100.0		19.3		18.2			
	経営者数	3,195		638		598			
	%	100.0		20.0		18.7			

I. 経営者の情報
1. 農場責任者の年齢

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
29歳以下	33	0.9	26.2	5	0.6	25.0	11	1.0	26.8
30~39歳	201	5.2	35.7	44	5.0	36.7	59	5.1	35.9
40~49歳	520	13.4	45.6	106	12.1	45.9	147	12.8	45.9
50~59歳	1,264	32.6	55.2	305	34.9	55.1	401	35.0	55.3
60~69歳	1,058	27.3	63.3	245	28.1	63.1	326	28.4	63.1
70歳以上	490	12.6	74.7	86	9.9	74.9	132	11.5	74.9
不明	315	8.1	—	82	9.4	—	71	6.2	—
合 計	3,881	100.0	57.5	873	100.0	57.3	1,147	100.0	57.4
回答農場数	3,881	—	—	873	—	—	1,147	—	—

2. 性別

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
男	3,590	92.5	—	783	89.7	—	1,083	94.4	—
女	99	2.6	—	20	2.3	—	20	1.7	—
不明	192	4.9	—	70	8.0	—	44	3.8	—
合 計	3,881	100.0	—	873	100.0	—	1,147	100.0	—
回答農場数	3,881	—	—	873	—	—	1,147	—	—

II. 経営形態

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
1 個人経営（家族労働主体）（契約農場、預託農場を除く）	2,334	60.1	—	537	61.5	—	712	62.1	—
2 農事組合法人の農場	109	2.8	—	26	3.0	—	25	2.2	—
3 有限会社（LLC法人を含む）	928	23.9	—	200	22.9	—	318	27.7	—
ア 有限会社〇〇 養豚等	803	86.5	—	174	87.0	—	277	87.1	—
イ 有限会社□□養豚の△△農場等	125	13.5	—	26	13.0	—	41	12.9	—
4 合資会社・合名会社	5	0.1	—	1	0.1	—	2	0.2	—
ア 合資会社・合名会社 〇〇養豚等	4	80.0	—	1	100.0	—	2	100.0	—
イ 合資会社・合名会社 □□養豚の△△農場等	1	20.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
5 株式会社	315	8.1	—	79	9.0	—	53	4.6	—
ア 株式会社 〇〇養豚等	145	46.0	—	35	44.3	—	31	58.5	—
イ 株式会社 □□養豚の△△農場等	170	54.0	—	44	55.7	—	22	41.5	—
6 農業協同組合法人（農協等）の直営養豚場	43	1.1	—	4	0.5	—	4	0.3	—
7 会社、農協、民間養豚場等の契約農場	22	0.6	—	4	0.5	—	12	1.0	—
8 会社、農協、民間養豚場等の預託農場	69	1.8	—	9	1.0	—	11	1.0	—
9 その他（都道府県、公益法人、学校法人等上記1から8以外）	56	1.4	—	13	1.5	—	10	0.9	—
合 計	3,881	100.0	—	873	100.0	—	1,147	100.0	—
回答農場数	3,881	—	—	873	—	—	1,147	—	—

III. 経営タイプ

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数
1 一貫経営	3,114	80.2	622,517	725	83.0	156,949	961	83.8	179,897
ア 一貫経営の繁殖農場	79	2.5	50,001	21	2.9	9,272	15	1.6	6,810
A 純粋種豚生産農場	6	7.6	1,059	2	9.5	23	0	0.0	0
B 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場	23	29.1	10,522	8	38.1	3,805	4	26.7	1,320
C 子取り用雌豚生産農場	18	22.8	21,815	9	42.9	5,259	2	13.3	526
D 肉用子豚の生産農場	32	40.5	16,605	2	9.5	185	9	60.0	4,964
イ 一貫経営の子豚育成農場	31	1.0	19,418	2	0.3	914	8	0.8	9,038
ウ 一貫経営の肥育農場	73	2.3	1,535	8	1.1	250	19	2.0	546
エ 一貫経営の一貫生産農場	2,928	94.0	551,506	693	95.6	146,513	918	95.5	163,475
オ 一貫経営の豚人工授精所	3	0.1	57	1	0.1	0	1	0.1	28
2 繁殖経営	445	11.5	45,724	99	11.3	7,633	102	8.9	10,134
ア 純粋種豚生産農場	24	5.4	1,461	4	4.0	887	10	9.8	330
イ 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場	47	10.6	4,031	8	8.1	907	15	14.7	923
ウ 子取り用雌豚生産農場	59	13.3	8,457	11	11.1	2,138	9	8.8	627
エ 肉用子豚の生産農場	313	70.3	31,775	75	75.8	3,701	67	65.7	8,254
オ 豚人工授精所	2	0.4	0	1	1.0	0	1	1.0	0
3 肥育経営	322	8.3	1,936	49	5.6	0	84	7.3	16
合 計	3,881	100.0	670,177	873	100.0	164,582	1,147	100.0	190,047
回答農場数	3,881	—	—	873	—	—	1,147	—	—

経営タイプ別・経営形態別・農場責任者年代別

北 陸		東 海		近 畿		中国・四国		九州・沖縄	
103	2.7	259	6.7	80	2.1	253	6.5	1,166	30.0
3場	25	4場	10	5場	6	6~10場	6	11場以上	2
	0.7		0.3		0.2		0.2		0.1
1,000~1,999頭		2,000~3,999頭		4,000~9,999頭		10,000~19,999頭		20,000頭以上	
738	22.0	644	19.2	495	14.7	138	4.1	84	2.5
709	22.2	609	19.1	430	13.5	112	3.5	99	3.1

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
0	0.0	—	2	0.8	27.5	1	1.3	23.0	4	1.6	27.5	10	0.9	25.6
2	1.9	37.0	14	5.4	35.6	3	3.8	33.7	12	4.7	35.7	67	5.7	35.1
7	6.8	44.6	51	19.7	45.1	7	8.8	45.1	34	13.4	45.9	168	14.4	45.3
46	44.7	55.8	88	34.0	55.6	25	31.3	55.8	74	29.2	55.3	325	27.9	54.9
31	30.1	62.6	60	23.2	63.3	29	36.3	64.3	74	29.2	63.5	293	25.1	63.6
12	11.7	73.8	34	13.1	74.3	13	16.3	78.5	32	12.6	74.8	181	15.5	74.4
5	4.9	—	10	3.9	—	2	2.5	—	23	9.1	—	122	10.5	—
103	100.0	59.0	259	100.0	56.5	80	100.0	60.5	253	100.0	57.7	1,166	100.0	57.6
103	—	—	259	—	—	80	—	—	253	—	—	1,166	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
98	95.1	—	250	96.5	—	74	92.5	—	234	92.5	—	1,068	91.6	—
1	1.0	—	3	1.2	—	4	5.0	—	4	1.6	—	47	4.0	—
4	3.9	—	6	2.3	—	2	2.5	—	15	5.9	—	51	4.4	—
103	100.0	—	259	100.0	—	80	100.0	—	253	100.0	—	1,166	100.0	—
103	—	—	259	—	—	80	—	—	253	—	—	1,166	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
59	57.3	—	171	66.0	—	55	68.8	—	145	57.3	—	655	56.2	—
4	3.9	—	8	3.1	—	1	1.3	—	15	5.9	—	30	2.6	—
34	33.0	—	62	23.9	—	8	10.0	—	57	22.5	—	249	21.4	—
26	76.5	—	55	88.7	—	7	87.5	—	53	93.0	—	211	84.7	—
8	23.5	—	7	11.3	—	1	12.5	—	4	7.0	—	38	15.3	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	2	0.2	—
0	—	—	0	—	—	0	—	—	0	—	—	1	50.0	—
0	—	—	0	—	—	0	—	—	0	—	—	1	50.0	—
3	2.9	—	16	6.2	—	9	11.3	—	23	9.1	—	132	11.3	—
1	33.3	—	15	93.8	—	7	77.8	—	13	56.5	—	43	32.6	—
2	66.7	—	1	6.3	—	2	22.2	—	10	43.5	—	89	67.4	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	0.4	—	34	2.9	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	6	0.5	—
0	0.0	—	1	0.4	—	0	0.0	—	2	0.8	—	46	3.9	—
3	2.9	—	1	0.4	—	7	8.8	—	10	4.0	—	12	1.0	—
103	100.0	—	259	100.0	—	80	100.0	—	253	100.0	—	1,166	100.0	—
103	—	—	259	—	—	80	—	—	253	—	—	1,166	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数
87	84.5	14,018	220	84.9	35,823	58	72.5	5,048	216	85.4	42,065	847	72.6	188,717
4	4.6	1,327	3	1.4	810	2	3.4	7	4	1.9	1,075	30	3.5	30,700
1	25.0	443	1	33.3	130	1	50.0	2	0	0.0	0	1	3.3	461
2	50.0	604	1	33.3	580	0	0.0	0	0	0.0	0	8	26.7	4,213
0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	25.0	395	6	20.0	15,635
1	25.0	280	1	33.3	100	1	50.0	5	3	75.0	680	15	50.0	10,391
0	0.0	0	3	1.4	1,088	1	1.7	40	2	0.9	199	15	1.8	8,139
2	2.3	0	2	0.9	0	2	3.4	609	2	0.9	0	38	4.5	130
81	93.1	12,691	212	96.4	33,925	53	91.4	4,392	207	95.8	40,762	764	90.2	149,748
0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	0.5	29	0	0.0	0
10	9.7	1,007	24	9.3	2,943	5	6.3	335	23	9.1	1,345	182	15.6	22,327
2	20.0	76	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	8	4.4	168
2	20.0	59	4	16.7	67	0	0.0	0	2	8.7	134	16	8.8	1,941
1	10.0	0	4	16.7	1,201	0	0.0	0	3	13.0	110	31	17.0	4,381
5	50.0	872	16	66.7	1,675	5	100.0	335	18	78.3	1,101	127	69.8	15,837
0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
6	5.8	0	15	5.8	0	17	21.3	0	14	5.5	1,900	137	11.7	20
103	100.0	15,025	259	100.0	38,766	80	100.0	5,383	253	100.0	45,310	1,166	100.0	211,064
103	—	—	259	—	—	80	—	—	253	—	—	1,166	—	—

IV. 飼養頭数（平成21年8月1日現在）

♀子取り用雌豚（育成豚を除く）品種・品種組み合わせ別頭数

		全 国			北海道・東北			関 東		
		回答数	割 合	頭数平均	回答数	割 合	頭数平均	回答数	割 合	頭数平均
純 粋 種	ランドレース/L	833	24.5	25.8	172	21.9	36.2	325	31.8	20.4
	大ヨークシャー/W	577	17.0	30.5	93	11.8	57.9	199	19.5	25.5
	中ヨークシャー/Y	25	0.7	9.4	4	0.5	10.5	17	1.7	9.6
	パークシャー/B	489	14.4	84.6	49	6.2	34.7	41	4.0	28.8
	デュロック/D	559	16.5	7.6	91	11.6	13.5	241	23.6	5.7
	ハンブシャー/H	9	0.3	9.2	0	0.0	—	4	0.4	13.5
	その他	82	2.4	66.7	16	2.0	46.1	23	2.2	30.0
	小 計	2,574	75.8	55.5	425	54.0	56.4	850	83.1	31.6
交 雑 種	LW	1,803	53.1	127.2	427	54.3	127.3	707	69.1	124.7
	WL	585	17.2	135.4	124	15.8	128.8	145	14.2	103.1
	LW、WL何れか	320	9.4	311.0	49	6.2	260.8	100	9.8	522.0
	その他の組合せ	282	8.3	154.6	84	10.7	229.0	78	7.6	100.4
	海外ハイブリッド	372	10.9	344.2	134	17.0	350.0	58	5.7	202.6
	小 計	3,362	98.9	202.6	818	103.9	206.4	1,088	106.4	183.7
	合 計	5,936	174.7	197.2	1,243	157.9	209.1	1,938	189.4	185.8
	回答農場数	3,398	—	—	787	—	—	1,023	—	—
		全 国			北海道・東北			関 東		
		子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合
純 粋 種	ランドレース/L	21,509	23.8	3.2	6,232	40.6	3.8	6,635	43.8	3.5
	大ヨークシャー/W	17,614	19.5	2.6	5,387	35.1	3.3	5,076	33.5	2.7
	中ヨークシャー/Y	236	0.3	0.0	42	0.3	0.0	164	1.1	0.1
	パークシャー/B	41,384	45.7	6.2	1,702	11.1	1.0	1,179	7.8	0.6
	デュロック/D	4,256	4.7	0.6	1,231	8.0	0.7	1,365	9.0	0.7
	ハンブシャー/H	83	0.1	0.0	0	0.0	0.0	54	0.4	0.0
	その他	5,471	6.0	0.8	738	4.8	0.4	691	4.6	0.4
	小 計	90,553	100.0	13.5	15,332	100.0	9.3	15,164	100.0	8.0
交 雑 種	LW	229,257	39.6	34.2	54,364	36.4	33.0	88,154	50.4	46.4
	WL	79,207	13.7	11.8	15,971	10.7	9.7	14,948	8.5	7.9
	LW、WL何れか	99,527	17.2	14.9	12,779	8.6	7.8	52,199	29.8	27.5
	その他の組合せ	43,605	7.5	6.5	19,237	12.9	11.7	7,832	4.5	4.1
	海外ハイブリッド	128,028	22.1	19.1	46,899	31.4	28.5	11,750	6.7	6.2
	小 計	579,624	100.0	86.5	149,250	100.0	90.7	174,883	100.0	92.0
	合 計	670,177	—	100.0	164,582	—	100.0	190,047	—	100.0
		全 国			北海道・東北			関 東		
		回答数	割 合	子取♀頭数	回答数	割 合	子取♀頭数	回答数	割 合	子取♀頭数
頭 数 規 模 別 子 取 り 用 雌 豚	1～19頭	486	14.3	4,555	146	18.6	1,267	122	11.9	1,289
	20～49頭	633	18.6	20,720	172	21.9	5,571	163	15.9	5,412
	50～99頭	780	23.0	55,069	148	18.8	10,333	258	25.2	18,444
	100～199頭	711	20.9	95,556	120	15.2	16,086	255	24.9	34,783
	200～499頭	504	14.8	152,321	112	14.2	34,634	164	16.0	48,806
	500～999頭	171	5.0	115,694	54	6.9	37,207	36	3.5	24,649
	1,000頭以上	113	3.3	226,262	35	4.4	59,484	25	2.4	56,664
	合 計	3,398	100.0	670,177	787	100.0	164,582	1,023	100.0	190,047
	回答農場数	3,398	—	—	787	—	—	1,023	—	—

V. 出荷頭数等（平成20年1～12月の総頭数）

		全 国			北海道・東北			関 東		
		回答数	割 合	頭数合計	回答数	割 合	頭数合計	回答数	割 合	頭数合計
年 間 肉 豚 出 荷 頭 数 規 模 別	年間肉豚出荷頭数	3,359	—	11,751,541	777	—	3,200,174	1,017	—	3,293,803
	1～399頭	648	19.3	111,079	148	19.0	25,710	182	17.9	29,554
	400～999頭	612	18.2	404,058	172	22.1	110,826	161	15.8	110,713
	1,000～1,999頭	738	22.0	1,047,275	148	19.0	208,250	251	24.7	360,884
	2,000～3,999頭	644	19.2	1,765,782	119	15.3	329,544	222	21.8	610,147
	4,000～9,999頭	495	14.7	2,974,644	112	14.4	702,581	149	14.7	885,300
	10,000～19,999頭	138	4.1	1,873,593	43	5.5	603,679	32	3.1	419,759
	20,000頭以上	84	2.5	3,575,110	35	4.5	1,219,584	20	2.0	877,446
	合 計	3,359	100.0	11,751,541	777	100.0	3,200,174	1,017	100.0	3,293,803

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均
36	39.1	18.8	57	24.2	13.1	25	41.7	4.4	59	25.8	15.2	159	16.4	39.1
17	18.5	68.3	86	36.4	14.2	18	30.0	4.4	41	17.9	13.8	123	12.7	33.5
0	0.0	—	1	0.4	15.0	2	3.3	2.5	0	0.0	—	1	0.1	10.0
9	9.8	18.4	4	1.7	37.3	4	6.7	6.8	20	8.7	19.2	362	37.3	104.4
21	22.8	12.0	41	17.4	5.3	16	26.7	3.9	37	16.2	6.2	112	11.5	8.0
0	0.0	—	1	0.4	3.0	0	0.0	—	1	0.4	8.0	3	0.3	6.0
4	4.3	61.0	1	0.4	1.0	1	1.7	80.0	6	2.6	58.8	31	3.2	108.5
87	94.6	47.2	191	80.9	19.9	66	110.0	10.8	164	71.6	23.8	791	81.5	91.3
48	52.2	85.5	109	46.2	96.6	39	65.0	49.9	130	56.8	154.5	343	35.3	146.0
16	17.4	313.3	91	38.6	113.9	22	36.7	36.4	45	19.7	71.3	142	14.6	203.6
6	6.5	121.8	35	14.8	141.7	8	13.3	89.6	22	9.6	204.5	100	10.3	236.4
16	17.4	131.1	20	8.5	145.4	6	10.0	54.7	27	11.8	59.5	51	5.3	188.2
8	8.7	72.6	25	10.6	306.0	5	8.3	245.2	38	16.6	354.8	104	10.7	446.5
94	102.2	164.8	280	118.6	161.1	80	133.3	89.6	262	114.4	200.4	740	76.2	258.4
181	196.7	163.3	471	199.6	164.3	146	243.3	89.7	426	186.0	197.9	1,531	157.7	217.4
92	—	—	236	—	—	60	—	—	229	—	—	971	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合
678	27.1	4.5	745	31.6	1.9	111	30.3	2.1	895	36.8	2.0	6,213	11.9	2.9
1,161	46.4	7.7	1,225	52.0	3.2	80	21.9	1.5	564	23.2	1.2	4,121	7.9	2.0
0	0.0	0.0	15	0.6	0.0	5	1.4	0.1	0	0.0	0.0	10	0.0	0.0
166	6.6	1.1	149	6.3	0.4	27	7.4	0.5	383	15.7	0.8	37,778	72.1	17.9
251	10.0	1.7	216	9.2	0.6	63	17.2	1.2	229	9.4	0.5	901	1.7	0.4
0	0.0	0.0	3	0.1	0.0	0	0.0	0.0	8	0.3	0.0	18	0.0	0.0
244	9.8	1.6	1	0.0	0.0	80	21.9	1.5	353	14.5	0.8	3,364	6.4	1.6
2,500	100.0	16.6	2,354	100.0	6.1	366	100.0	6.8	2,432	100.0	5.4	52,405	100.0	24.8
4,104	32.8	27.3	10,532	28.9	27.2	1,946	38.8	36.2	20,080	46.8	44.3	50,077	31.6	23.7
5,012	40.0	33.4	10,362	28.5	26.7	800	15.9	14.9	3,208	7.5	7.1	28,906	18.2	13.7
731	5.8	4.9	4,960	13.6	12.8	717	14.3	13.3	4,500	10.5	9.9	23,641	14.9	11.2
2,097	16.7	14.0	2,908	8.0	7.5	328	6.5	6.1	1,607	3.7	3.5	9,596	6.0	4.5
581	4.6	3.9	7,650	21.0	19.7	1,226	24.4	22.8	13,483	31.4	29.8	46,439	29.3	22.0
12,525	100.0	83.4	36,412	100.0	93.9	5,017	100.0	93.2	42,878	100.0	94.6	158,659	100.0	75.2
15,025	—	100.0	38,766	—	100.0	5,383	—	100.0	45,310	—	100.0	211,064	—	100.0

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数
9	9.8	79	15	6.4	137	16	26.7	139	27	11.8	246	151	15.6	1,398
20	21.7	702	27	11.4	920	14	23.3	440	38	16.6	1,295	199	20.5	6,380
28	30.4	1,953	56	23.7	4,288	10	16.7	729	58	25.3	4,019	222	22.9	15,303
19	20.7	2,983	90	38.1	12,054	13	21.7	1,574	42	18.3	5,618	172	17.7	22,458
14	15.2	4,588	34	14.4	10,409	5	8.3	1,361	41	17.9	12,911	134	13.8	39,612
1	1.1	520	12	5.1	7,364	2	3.3	1,140	17	7.4	11,473	49	5.0	33,341
1	1.1	4,200	2	0.8	3,594	0	0.0	0	6	2.6	9,748	44	4.5	92,572
92	100.0	15,025	236	100.0	38,766	60	100.0	5,383	229	100.0	45,310	971	100.0	211,064
92	—	—	236	—	—	60	—	—	229	—	—	971	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計
95	—	314,632	240	—	727,871	73	—	109,512	225	—	767,723	932	—	3,337,826
13	13.7	2,205	21	8.8	3,772	22	30.1	2,659	45	20.0	8,572	217	23.3	38,607
16	16.8	11,412	33	13.8	21,620	18	24.7	10,358	41	18.2	28,848	171	18.3	110,281
27	28.4	36,625	60	25.0	88,674	14	19.2	18,545	44	19.6	62,005	194	20.8	272,292
23	24.2	64,766	79	32.9	206,976	13	17.8	35,050	38	16.9	102,249	150	16.1	417,050
14	14.7	87,824	35	14.6	204,493	5	6.8	30,900	41	18.2	246,482	139	14.9	817,064
1	1.1	11,800	10	4.2	124,476	1	1.4	12,000	12	5.3	177,203	39	4.2	524,676
1	1.1	100,000	2	0.8	77,860	0	0.0	0	4	1.8	142,364	22	2.4	1,157,856
95	100.0	314,632	240	100.0	727,871	73	100.0	109,512	225	100.0	767,723	932	100.0	3,337,826

VI. 給与飼料

1 現在使用している飼料について（アからエの中から○はいくつでも）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 市販配合飼料※1	3,467	92.4	—	826	97.8	—	1,047	94.2	—
イ 自家配合飼料※2	284	7.6	—	18	2.1	—	76	6.8	—
ウ 食品残さ等リサイクル飼料※3	599	16.0	—	85	10.1	—	186	16.7	—
エ 飼料米※4	99	2.6	—	42	5.0	—	27	2.4	—
合 計	4,449	118.6	—	971	114.9	—	1,336	120.1	—
回答農場数	3,752	—	—	845	—	—	1,112	—	—

※1 配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む

※2 単味飼料等の原料を調達して自ら配合・調製したもの

※3 食品製造残、食品加工残さ、調理残さ、期限切れ加工食品、農産物残さ、厨芥等およびこれらを原料として加熱乾燥、発酵、液化化（リキッド）等の処理により飼料化したもの。
なお、市販飼料に含まれているものを使用している場合を除く

※4 市販の配合飼料に含まれているものを使用している場合を除く

	全 体			1～399頭			400～999頭		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 市販配合飼料	3,039	92.4	—	547	87.7	—	566	93.6	—
イ 自家配合飼料	253	7.7	—	51	8.2	—	39	6.4	—
ウ 食品残さ等リサイクル飼料	542	16.5	—	148	23.7	—	103	17.0	—
エ 飼料米	95	2.9	—	16	2.6	—	19	3.1	—
合 計	3,929	119.5	—	762	122.1	—	727	120.2	—
回答農場数	3,288	—	—	624	—	—	605	—	—

2 食品残さ等、リサイクル飼料を現在使用している方及び昨年まで使用していた方に伺います、前年に比べての増・減（○は1つだけ）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア リサイクル飼料の使用量は前年と同じ	364	66.1	—	56	71.8	—	109	65.7	—
イ リサイクル飼料の使用量が前年より増加している	98	17.8	—	14	17.9	—	31	18.7	—
ウ リサイクル飼料の使用量を前年より減らしている	46	8.3	—	2	2.6	—	13	7.8	—
エ 平成20年8月1日以降新たにリサイクル飼料を使用するようになった	34	6.2	—	4	5.1	—	10	6.0	—
オ 平成20年8月1日以降リサイクル飼料の使用を中止した	9	1.6	—	2	2.6	—	3	1.8	—
合 計	551	100.0	—	78	100.0	—	166	100.0	—
回答農場数	551	—	—	78	—	—	166	—	—

	全 体			1～399頭			400～999頭		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア リサイクル飼料の使用量は前年と同じ	325	64.7	—	109	78.4	—	55	57.9	—
イ リサイクル飼料の使用量が前年より増加している	95	18.9	—	13	9.4	—	26	27.4	—
ウ リサイクル飼料の使用量を前年より減らしている	43	8.6	—	13	9.4	—	8	8.4	—
エ 平成20年8月1日以降新たにリサイクル飼料を使用するようになった	30	6.0	—	2	1.4	—	5	5.3	—
オ 平成20年8月1日以降リサイクル飼料の使用を中止した	9	1.8	—	2	1.4	—	1	1.1	—
合 計	502	100.0	—	139	100.0	—	95	100.0	—
回答農場数	502	—	—	139	—	—	95	—	—

4 リサイクル飼料の今後の利用意向（○は1つだけ）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア リサイクル飼料の利用をこのまま継続したい	383	14.9	—	57	9.8	—	113	15.1	—
イ リサイクル飼料の利用を拡大したい	165	6.4	—	17	2.9	—	52	6.9	—
ウ 新たにリサイクル飼料の使用を始めたい	340	13.2	—	61	10.4	—	101	13.5	—
エ リサイクル飼料の使用割合を減らしたい	7	0.3	—	0	0.0	—	5	0.7	—
オ リサイクル飼料の使用を中止したい	13	0.5	—	5	0.9	—	4	0.5	—
カ これからもリサイクル飼料を使うつもりはない	1,667	64.7	—	444	76.0	—	475	63.3	—
合 計	2,575	100.0	—	584	100.0	—	750	100.0	—
回答農場数	2,575	—	—	584	—	—	750	—	—

3 いますか（ア、イのどちらかに○）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
ア 給与している（A～D ○は1つ）	32	0.9	—	14	1.7	—	12	1.1	—
全体に占める割合 %	16	—	4.5	6	—	9.2	7	—	1.8
A 飼料費節減のため	13	44.8	—	4	28.6	—	7	70.0	—
B 肉質改善のため	9	31.0	—	6	42.9	—	1	10.0	—
C 飲料水代わり	1	3.4	—	1	7.1	—	0	0.0	—
D その他	6	20.7	—	3	21.4	—	2	20.0	—
ア 小 計	29	100.0	—	14	100.0	—	10	100.0	—
イ 給与していない（A、B どちらかに○）	3,587	99.1	—	815	98.3	—	1,063	98.9	—
A 安価・定量で入手可能であれば、豚に給与することを考える	738	36.6	—	131	28.1	—	239	40.2	—
B 安価・定量で入手可能であっても、豚に給与することは考えない	1,278	63.4	—	336	71.9	—	356	59.8	—
イ 小 計	2,016	100.0	—	467	100.0	—	595	100.0	—
合 計	3,619	100.0	—	829	100.0	—	1,075	100.0	—
回答農場数	3,619	—	—	829	—	—	1,075	—	—

5 飼料米について（配合飼料に含まれているものは除く）

ア 飼料米の使用の有無について伺います（AからCの中から1つ○を記入するとともにA、Bに○の場合は年数を記入）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
A 現在使っている	99	3.4	—	42	6.2	—	27	3.1	—
開始年平成18年以前	10	12.5	—	3	7.7	—	3	14.3	—
19年	5	6.3	—	3	7.7	—	0	0.0	—
20年	36	45.0	—	17	43.6	—	11	52.4	—
21年	29	36.3	—	16	41.0	—	7	33.3	—
A 小 計	80	100.0	—	39	100.0	—	21	100.0	—
B 現在は使っていないが使ったことがある 使用期間	34	1.2	—	5	0.7	—	13	1.5	—
	16	—	2.3	4	—	6.0	4	—	1.3
C 使ったことはない	2,796	95.5	—	630	93.1	—	825	95.4	—
合 計	2,929	100.0	—	677	100.0	—	865	100.0	—
回答農場数	2,929	—	—	677	—	—	865	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
98	96.1	—	224	88.5	—	62	77.5	—	228	93.8	—	982	87.9	—
5	4.9	—	36	14.2	—	15	18.8	—	19	7.8	—	115	10.3	—
18	17.6	—	68	26.9	—	44	55.0	—	55	22.6	—	143	12.8	—
4	3.9	—	5	2.0	—	1	1.3	—	4	1.6	—	16	1.4	—
125	122.5	—	333	131.6	—	122	152.5	—	306	125.9	—	1,256	112.4	—
102	—	—	253	—	—	80	—	—	243	—	—	1,117	—	—

1,000～1,999頭			2,000～3,999頭			4,000～9,999頭			10,000～19,999頭			20,000頭以上		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
670	93.4	—	604	95.1	—	445	91.6	—	128	92.8	—	79	95.2	—
51	7.1	—	40	6.3	—	53	10.9	—	13	9.4	—	6	7.2	—
93	13.0	—	85	13.4	—	71	14.6	—	20	14.5	—	22	26.5	—
11	1.5	—	15	2.4	—	16	3.3	—	6	4.3	—	12	14.5	—
825	115.1	—	744	117.2	—	585	120.4	—	167	121.0	—	119	143.4	—
717	—	—	635	—	—	486	—	—	138	—	—	83	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
14	77.8	—	39	60.9	—	29	64.4	—	35	67.3	—	82	64.1	—
3	16.7	—	13	20.3	—	10	22.2	—	8	15.4	—	19	14.8	—
0	0.0	—	9	14.1	—	3	6.7	—	6	11.5	—	13	10.2	—
0	0.0	—	3	4.7	—	2	4.4	—	3	5.8	—	12	9.4	—
1	5.6	—	0	0.0	—	1	2.2	—	0	0.0	—	2	1.6	—
18	100.0	—	64	100.0	—	45	100.0	—	52	100.0	—	128	100.0	—
18	—	—	64	—	—	45	—	—	52	—	—	128	—	—

1,000～1,999頭			2,000～3,999頭			4,000～9,999頭			10,000～19,999頭			20,000頭以上		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
59	65.6	—	43	53.1	—	47	73.4	—	6	37.5	—	6	35.3	—
13	14.4	—	23	28.4	—	8	12.5	—	7	43.8	—	5	29.4	—
9	10.0	—	8	9.9	—	4	6.3	—	0	0.0	—	1	5.9	—
7	7.8	—	5	6.2	—	4	6.3	—	3	18.8	—	4	23.5	—
2	2.2	—	2	2.5	—	1	1.6	—	0	0.0	—	1	5.9	—
90	100.0	—	81	100.0	—	64	100.0	—	16	100.0	—	17	100.0	—
90	—	—	81	—	—	64	—	—	16	—	—	17	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
11	15.5	—	44	24.0	—	25	37.9	—	39	22.3	—	94	12.6	—
6	8.5	—	24	13.1	—	17	25.8	—	12	6.9	—	37	5.0	—
11	15.5	—	19	10.4	—	8	12.1	—	28	16.0	—	112	15.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	2	0.3	—
0	0.0	—	0	0.0	—	1	1.5	—	2	1.1	—	1	0.1	—
43	60.6	—	96	52.5	—	15	22.7	—	94	53.7	—	500	67.0	—
71	100.0	—	183	100.0	—	66	100.0	—	175	100.0	—	746	100.0	—
71	—	—	183	—	—	66	—	—	175	—	—	746	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
0	0.0	—	0	0.0	—	1	1.4	—	0	0.0	—	5	0.5	—
0	—	—	0	—	—	0	—	—	0	—	—	3	—	1.6
0	—	—	0	—	—	0	0.0	—	0	—	—	2	50.0	—
0	—	—	0	—	—	1	100.0	—	0	—	—	1	25.0	—
0	—	—	0	—	—	0	0.0	—	0	—	—	0	0.0	—
0	—	—	0	—	—	0	0.0	—	0	—	—	1	25.0	—
0	—	—	0	—	—	1	100.0	—	0	—	—	4	100.0	—
101	100.0	—	240	100.0	—	72	98.6	—	230	100.0	—	1,066	99.5	—
21	37.5	—	63	40.4	—	20	45.5	—	42	32.8	—	222	38.9	—
35	62.5	—	93	59.6	—	24	54.5	—	86	67.2	—	348	61.1	—
56	100.0	—	156	100.0	—	44	100.0	—	128	100.0	—	570	100.0	—
101	100.0	—	240	100.0	—	73	100.0	—	230	100.0	—	1,071	100.0	—
101	—	—	240	—	—	73	—	—	230	—	—	1,071	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
4	4.6	—	5	2.4	—	1	1.5	—	4	2.1	—	16	1.9	—
1	25.0	—	1	33.3	—	0	0.0	—	1	25.0	—	1	12.5	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	2	25.0	—
2	50.0	—	2	66.7	—	0	0.0	—	3	75.0	—	1	12.5	—
1	25.0	—	0	0.0	—	1	100.0	—	0	0.0	—	4	50.0	—
4	100.0	—	3	100.0	—	1	100.0	—	4	100.0	—	8	100.0	—
1	1.1	—	2	1.0	—	3	4.5	—	2	1.1	—	8	1.0	—
1	—	1.0	1	—	1.0	3	—	0.3	1	—	1.0	2	—	1.5
82	94.3	—	202	96.7	—	62	93.9	—	182	96.8	—	813	97.1	—
87	100.0	—	209	100.0	—	66	100.0	—	188	100.0	—	837	100.0	—
87	—	—	209	—	—	66	—	—	188	—	—	837	—	—

	全 体			1～399頭			400～999頭		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
A 現在使っている	95	3.6	—	16	3.3	—	19	4.0	—
開始年平成18年以前	10	12.8	—	3	20.0	—	1	5.6	—
19年	5	6.4	—	0	0.0	—	2	11.1	—
20年	35	44.9	—	5	33.3	—	7	38.9	—
21年	28	35.9	—	7	46.7	—	8	44.4	—
A 小 計	78	100.0	—	15	100.0	—	18	100.0	—
B 現在は使っていないが使ったことがある 使用期間	34	1.3	—	8	1.6	—	3	0.6	—
	16	—	2.3	4	—	1.3	2	—	11.0
C 使ったことはない	2,485	95.1	—	462	95.1	—	456	95.4	—
合 計	2,614	100.0	—	486	100.0	—	478	100.0	—
回答農場数	2,614	—	—	486	—	—	478	—	—

イ 飼料米の今後の利用意向（AからFの該当する総てに○するとともに数値を記入）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	量合計	回答数	割合	量合計	回答数	割合	量合計
A 飼料米の利用をこのまま継続したい 年間使用量 トン	68	2.7	—	27	4.6	—	19	2.7	—
	42	—	6,261.1	19	—	5,604.0	9	—	338.0
B 飼料米の利用を拡大したい 希望増量 年間 トン	25	1.0	—	10	1.7	—	7	1.0	—
	18	—	1,133.0	7	—	613.0	6	—	240.0
C 新たに飼料米の使用を始めたい 新規 年間 トン	450	18.0	—	76	13.0	—	131	18.5	—
	233	—	36,789.0	39	—	5,418.0	65	—	10,990.0
D 飼料米の使用割合を減らしたい 減量予定 年間 トン	1	0.0	—	1	0.2	—	0	0.0	—
	0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0
E 飼料米の使用を中止したい 中止予定量 トン	4	0.2	—	1	0.2	—	2	0.3	—
	4	—	10.0	1	—	1.0	2	—	2.0
F これからも飼料米を使うつもりはない	1,948	78.1	—	469	80.3	—	551	77.6	—
合 計	2,496	100.1	—	584	100.0	—	710	100.0	—
回答農場数	2,494	—	—	584	—	—	710	—	—

1,000~1,999頭			2,000~3,999頭			4,000~9,999頭			10,000~19,999頭			20,000頭以上		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
11	2.0	—	15	3.0	—	16	4.0	—	6	5.2	—	12	15.4	—
0	0.0	—	0	0.0	—	3	27.3	—	0	0.0	—	3	25.0	—
0	0.0	—	1	11.1	—	1	9.1	—	0	0.0	—	1	8.3	—
2	28.6	—	4	44.4	—	5	45.5	—	6	100.0	—	6	50.0	—
5	71.4	—	4	44.4	—	2	18.2	—	0	0.0	—	2	16.7	—
7	100.0	—	9	100.0	—	11	100.0	—	6	100.0	—	12	100.0	—
6	1.1	—	8	1.6	—	7	1.7	—	2	1.7	—	0	0.0	—
3	—	0.7	3	—	1.7	2	—	0.5	2	—	0.5	0	—	—
533	96.9	—	481	95.4	—	380	94.3	—	107	93.0	—	66	84.6	—
550	100.0	—	504	100.0	—	403	100.0	—	115	100.0	—	78	100.0	—
550	—	—	504	—	—	403	—	—	115	—	—	78	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	量合計	回答数	割合	量合計	回答数	割合	量合計	回答数	割合	量合計	回答数	割合	量合計
3	3.9	—	4	2.4	—	1	1.7	—	1	0.6	—	13	1.8	—
2	—	4.1	2	—	185.0	1	—	6.0	3	—	6.0	8	—	118.0
0	0.0	—	2	1.2	—	0	0.0	—	3	1.9	—	3	0.4	—
0	—	0.0	2	—	100.0	0	—	0.0	3	—	180.0	0	—	0.0
26	34.2	—	36	21.3	—	17	28.3	—	32	19.9	—	132	18.0	—
14	—	1,389.0	20	—	1,971.0	11	—	1,446.0	18	—	1,875.0	66	—	13,700.0
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0
1	1.3	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
1	—	7.0	0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0
46	60.5	—	128	75.7	—	42	70.0	—	125	77.6	—	587	80.0	—
76	100.0	—	170	100.6	—	60	100.0	—	161	100.0	—	735	100.1	—
76	—	—	169	—	—	60	—	—	161	—	—	734	—	—

畜産利用意向調査

(平成21年度)

社団法人 日本養豚協会

調査票記入についてのお願い

1. 調査票は農場毎にご記入くださるようお願いいたします。
但し、同一敷地や隣接している敷地に第1農場、第2農場等となっている場合は1つの農場として記入してください。農場毎にデータを集計していない場合は、メインの農場に全体の成績を記入し他の農場は空欄としてください。
2. 質問項目が太字のものは、全農場が対象の設問ですから必ずお答えくださるようお願いいたします。
3. 必ずボールペン、万年筆、サインペンなど消えにくいもので記入してください（鉛筆では記入しないでください）。
4. 記入は番号に○をするものと□に数字を記入するものがあります。記入に当たっては以下の記入例を参考にしてください。

記入例1（番号に○をするもの）

1 ()
2 (○)
 ア ()
 イ (○)
3 ()

記入例2（枠内に数値を記入するもの）

8	7
---	---

1つの枠に1文字ずつ右詰めで記入してください

I. 経営者等

フリガナ 農場名	※	フリガナ 農場責任者		性別 男・女 生年 大正 昭和 平成 西暦 年
※ …農場名が無い方は、無理に記入する必要はありません				
所在地	〒 —	都道 府県	市 郡	区 町村
電話番号	()	FAX番号	()	

◎ 法人経営の場合のみご記入ください

フリガナ 法人名	※	フリガナ 代表者氏名	※※	性別 男・女 生年 大正 昭和 平成 西暦 年
※ …有限会社、合資会社、株式会社等法人格を必ず記入してください、また法人の中に養豚を統括する部署がある場合は部署名も記入してください ※※ …社長以外に養豚を統括する責任者が居る場合は、出来る限り現場に近い責任者を記入してください				
本社所在地	〒 —	都道 府県	市 郡	区 町村
電話番号	()	FAX番号	()	

II. 経営形態 (1から9の中から○は1つだけ)

1 () 個人経営 (家族労働主体) (契約農場、預託農場を除く)

2 () 農事組合法人の農場

3 () 有限会社 (LLC 法人を含む) (○をした方はアイのどちらかに○)

ア () 有限会社○○ 養豚等

イ () 有限会社□□養豚の△△農場等

4 () 合資会社・合名会社 (○をした方はアイのどちらかに○)

ア () 合資会社・合名会社 ○○養豚等

イ () 合資会社・合名会社 □□養豚の△△農場等

5 () 株式会社 (○をした方はアイのどちらかに○)

ア () 株式会社 ○○養豚等

イ () 株式会社 □□養豚の△△農場等

6 () 農業協同組合法人 (農協等) の直営養豚場

7 () 会社、農協、民間養豚場等の契約農場

8 () 会社、農協、民間養豚場等の預託農場

9 () その他 (都道府県、公益法人、学校法人等上記1 から8以外)

III. 経営タイプ (経営体としての経営タイプを1から3の中から○は1つだけ)

1 () 一貫経営 (主なものをアからオに1つだけ○)

ア () 一貫経営の繁殖農場 (○をした方はAからDに1つだけ○)

A () 純粋種豚生産農場

B () 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場

C () 子取り用雌豚生産農場

D () 肉用子豚の生産農場

イ () 一貫経営の子豚育成農場

ウ () 一貫経営の肥育農場

エ () 一貫経営の一貫生産農場

オ () 一貫経営の豚人工授精所

2 () 繁殖経営 (○をした方はアからオに1つだけ○)

ア () 純粋種豚生産農場

イ () 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場

ウ () 子取り用雌豚生産農場

エ () 肉用子豚の生産農場

オ () 豚人工授精所

3 () 肥育経営

IV. 出荷頭数等 (平成20年1～12月の総頭数)

1. 年間肉豚出荷頭数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

 頭

V. 給与飼料

1. 現在使用している飼料について (アからエの中から○はいくつでも)

ア () 市販配合飼料 (配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む)

イ () 自家配合飼料 (単味飼料等の原料を調達して自ら配合・調製したもの)

ウ () 食品残さ等リサイクル飼料 (食品製造粕、食品加工残さ、調理残さ、期限切れ加工食品、農産物残さ、
厨芥等およびこれらを原料として加熱乾燥、発酵、液状化 (リキッド) 等の
処理により飼料化したもの。なお、市販飼料に含まれているものを使用し
ている場合を除く)

エ () 飼料米 (市販の配合飼料に含まれているものを使用している場合を除く)

2. 食品残さ等、リサイクル飼料を現在使用している方及び昨年まで使用していた方に伺います
前年に比べての増・減 (○は1つだけ)

ア () リサイクル飼料の使用量は前年と同じ

イ () リサイクル飼料の使用量が前年より増加している

ウ () リサイクル飼料の使用量を前年より減らしている

エ () 平成20年8月1日以降新たにリサイクル飼料を使用するようになった

オ () 平成20年8月1日以降リサイクル飼料の使用を中止した

3. 現在チーズホエイを豚に給与していますか (ア、イのどちらかに○)

ア () 給与している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・全体の約

--	--	--

 .

--

 %

(○をした方はAからDの中からどれか1つ○)

A () 飼料費節減のため

B () 肉質改善のため

C () 飲料水代わり

D () その他 (_____)

イ () 給与していない (○をした方はA、Bのどちらかに○)

A () 安価・定量で入手可能であれば、豚に給与することを考える

B () 安価・定量で入手可能であっても、豚に給与することは考えない

4. リサイクル飼料の今後の利用意向 (○は1つだけ)

ア () リサイクル飼料の利用をこのまま継続したい

イ () リサイクル飼料の利用を拡大したい

ウ () 新たにリサイクル飼料の使用を始めたい

エ () リサイクル飼料の使用割合を減らしたい

オ () リサイクル飼料の使用を中止したい

カ () これからもリサイクル飼料を使うつもりはない

5. 飼料米について (配合飼料に含まれているものは除く)

ア. 飼料米の使用の有無について伺います

(AからCの中から1つOを記入するとともにA、BにOの場合は年数を記入)

- A () 現在使っている・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (昭和・平成・西暦 ____年から)
- B () 現在は使っていないが使ったことがある・・・・・・・・・・ (昭和・平成・西暦 ____年～____年)
- C () 使ったことはない

イ. 飼料米の今後の利用意向 (AからFの該当する総てにOするとともに数値を記入)

- A () 飼料米の利用をこのまま継続したい 年間

--	--	--	--

 トン程度
- B () 飼料米の利用を拡大したい 年間

--	--	--	--

 トン程度
- C () 新たに飼料米の使用を始めたい 年間

--	--	--	--

 トン程度
- D () 飼料米の使用割合を減らしたい 年間

--	--	--	--

 トン程度
- E () 飼料米の使用を中止したい 現在の年間使用量

--	--	--	--

 トン程度
- F () これからも飼料米を使うつもりはない

ご協力ありがとうございました。

誠に恐縮ですが、ご記入内容をもう一度ご確認下さいますようお願いいたします。

調査票の取り扱いについて

1. この調査票は、都道府県養豚協会等（都道府県調査実施団体）が内容の確認を行い（社）日本養豚協会に送付します。
2. （社）日本養豚協会では担当者が（社）日本養豚協会「個人情報保護規定」に従って管理するとともに、内容の確認を行います。
3. （社）日本養豚協会は「個人情報保護規定」に基づき契約を交わした業者にデータ入力を依頼します。
4. データは、（社）日本養豚協会の決められたコンピュータ上で担当職員だけしか処理、閲覧が出来ないよう管理します。また、都道府県調査実施団体に自分の県内のデータのみを管理していただきます。

調査結果の取り扱いについて

1. 最終調査結果については、全国集計、地域別（ブロック）集計して簡単な報告書として取り纏めます（都道府県毎の集計結果や、個人の情報は一切公表しません）。
2. 報告書は、都道府県養豚協会等都道府県調査実施団体を通じて調査にご協力いただいた方に配付します。

肉用牛肥育農家エコフイード利用意向調査結果報告
(平成 21 年度エコフイード推進事業)

平成 22 年 3 月 31 日

全国肉牛事業協同組合

(はじめに)

本調査は「食品残さ」の飼料利用の実態及び今後の意向を調査し、エコフィード推進事業における検討の参考資料に資することを目的として実施したものである。

【調査対象・回答数】

全国肉牛事業協同組合組合員の肉用牛経営体648戸を対象にアンケートを実施し、131戸から回答があった(回収率20%)。

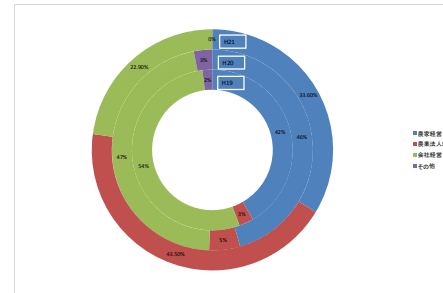
調査期間：平成21年12月～平成22年3月

【設問1】経営体について

有効回答数131戸のうち、44戸で33.6%が農家経営、57戸で43.5%が農業法人経営、30戸で22.9%が会社経営であった。

前年と比較すると農業法人経営の割合が増加し、それ以外の経営体の割合が減少している。

なお、地域別に見ると経営形態の地域内割合としては農家経営の割合が最も高いのが東北地域及び北陸・東海・近畿地方であり、会社経営の割合が最も高いのが中国・四国地方、農業法人経営の割合が最も高いのが北海道となっている。

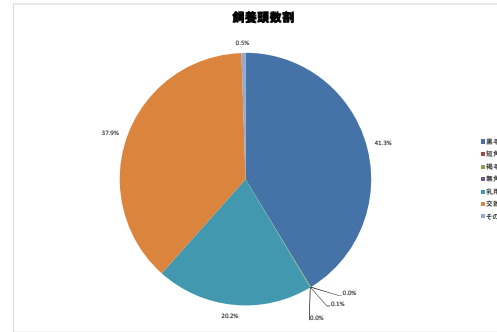


	全国	北海道	東北	関東	北陸・東海・近畿	中国・四国	九州・沖縄
農家経営	33.6%	20.0%	50.0%	41.9%	50.0%	12.5%	20.0%
農業法人経営	43.5%	56.0%	30.0%	41.9%	20.0%	50.0%	52.0%
会社経営	22.9%	24.0%	20.0%	16.3%	30.0%	37.5%	28.0%
その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

[設問2]経営規模について

有効回答数125戸の総頭数は123,425頭であり、黒毛和種が全体で最も割合が高い41%、乳用種が全体の20%であり、交雑種が全体の38%であった。

また、各品種の平成19年度からの平均頭数については以下のとおりであり、黒毛和種、褐毛和種、乳用種の3品種以外は増加している。



(単位：頭)

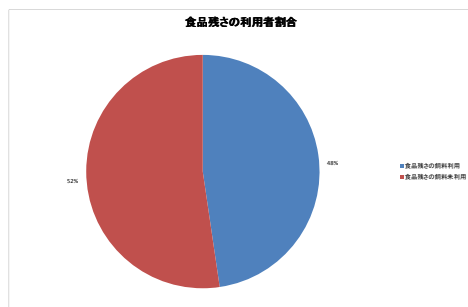
	21年度	20年度	19年度
黒毛和種	525	377	424
日本短角種	0	98	51
褐毛和種	51	16	12
無角和種	0	1	3
乳用種	1039	952	809
交雑種	650	780	566
その他	127	203	384

※その他の主な内容は肉専用種。

[設問3]食品残さの飼料利用について

有効回答数130戸のうち、現在食品残さを飼料として利用しているのは62戸(47.7%)であり、現在未利用であるとの回答者は68戸(52.3%)であった。

なお、地域別に見ると北陸・東海・近畿は利用者の割合が30%と最も低く、利用者の割合が高いのは関東地域の51.2%であった。



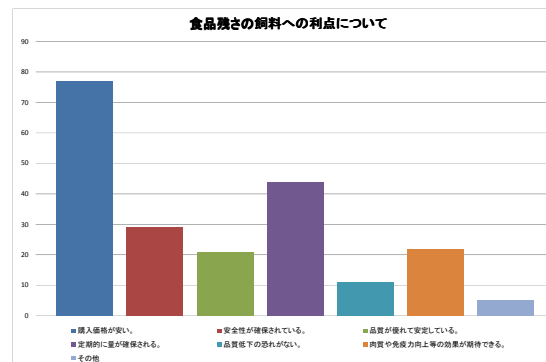
[設問 4] 今後における食品残さ利用の意向について

1 食品残さの飼料利用に対する利点について

食品残さの利用に対する利点についての回答は以下のとおりで、最も多い意見が「購入価格が安い」の36.8%であり、次いで「定期的に量が確保される」の21.2%、「安全性が確保されている」の13.9%という意見となっている（複数回答）。

(単位：%)

	全国	北海道	東北	関東	北陸・東海・近畿	中国・四国	九州・沖縄
利用者	47.7%	40.0%	40.0%	51.2%	30.0%	50.0%	48.0%
未利用者	52.3%	60.0%	60.0%	48.8%	70.0%	50.0%	52.0%



(回答割合：%)

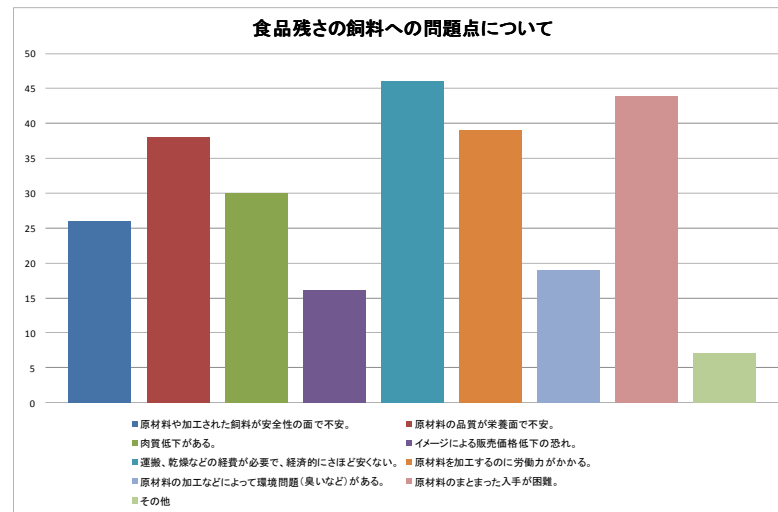
1 購入価格が安い。	11.1%
2 安全性が確保されている。	14.7%
3 品質が優れて安定している。	10.0%
4 定期的に量が確保される。	3.6%
5 品質低下の恐れがない。	15.7%
6 肉質や免疫力向上等の効果が期待できる。	12.9%
7 その他。	4.1%

その他の内容

- ・ 給餌の際の飼料分離を抑える。
- ・ 消費者のイメージが良さそう。
- ・ 利用残さによるブランド化が可能。 等

2 食品残さの飼料利用に対する問題点について

食品残さの利用に対する問題点についての回答は以下のとおりで、最も多い意見が「運搬、乾燥などの経費が必要で、経済的にさほど安くない。」の17.4%であり、次いで「原材料のまとまった入手が困難。」の16.6%、「原材料を加工するのに労働力がかかる。」の14.7%という意見となっている（複数回答）。



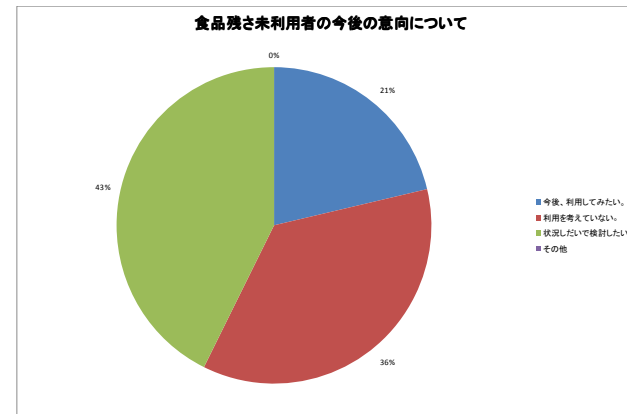
(回答割合：%)

1	原材料や加工された飼料が安全性の面で不安。	9.8%
2	原材料の品質が栄養面で不安。	14.3%
3	肉質低下がある。	11.3%
4	イメージによる販売価格低下の恐れ。	6.0%
5	運搬、乾燥などの経費が必要で、経済的にさほど安くない。	17.4%
6	原材料を加工するのに労働力がかかる。	14.7%
7	原材料の加工などによって環境問題(臭いなど)がある。	7.2%
8	原材料のまとまった入手が困難。	16.6%
9	その他。	2.6%

その他の内容

- ・食品残さの利用について不明な点が多い。
- ・食品残さ利用による肉質の安定化へのノウハウがない。
- ・利用可能な食品残さが季節により集中してしまう。 等

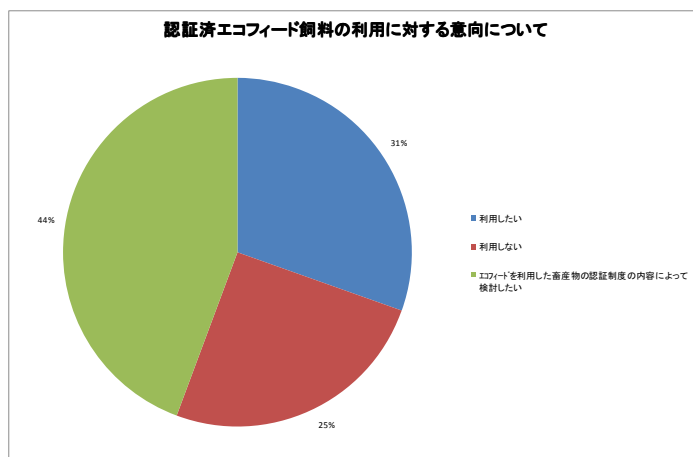
3 食品残さ未利用者の飼料利用に対する今後の意向について
有効回答数75戸のうち、食品残さの飼料への利用に対する今後の意向についての回答は以下のとおりで、「状況次第で検討したい」とする意見が最も多かった。



(回答戸数 (割合))

利用したい	16 戸(21.3%)
考えていない	27 戸(36.0%)
状況次第で検討したい	32 戸(42.7%)
その他	0 戸(0%)

4 認証済エコフィード飼料の利用に対する今後の意向について
 平成21年3月より開始されたエコフィード認証制度について、有効回答数115戸のうち、認証されたエコフィードの飼料利用についての回答は以下のとおりで、「エコフィードを利用した畜産物の認証制度の内容によって検討したい」とする意見が最も多かった。



(回答戸数 (割合))

利用したい	35 戸(30.4%)
利用しない	29 戸(25.2%)
利用畜産物の認証内容次第	51 戸(44.3%)

5 エコフィード認証制度及びエコフィード利用畜産物認証制度についての意見等

エコフィード認証制度またはエコフィード利用畜産物認証制度に対する主な意見については以下のとおり。

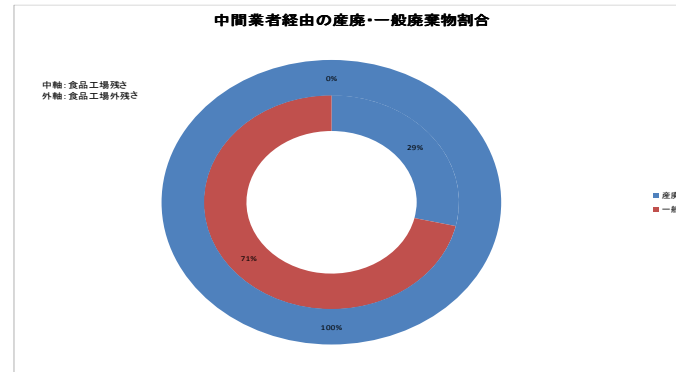
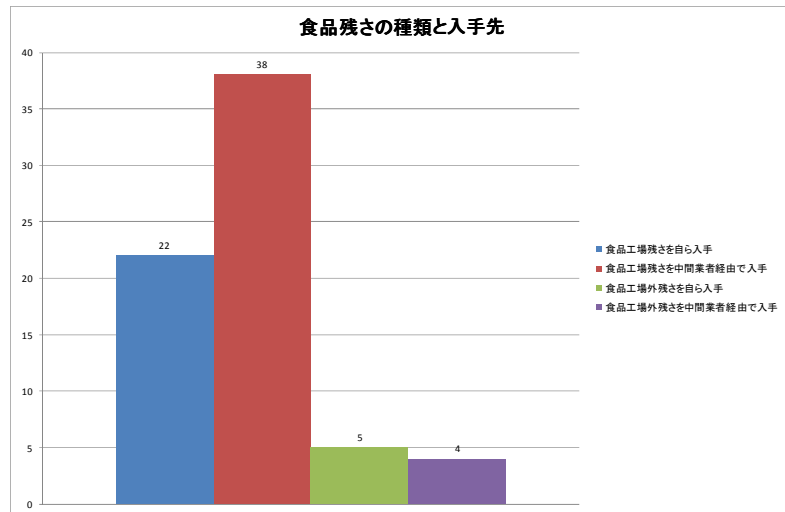
- ・ 認証制度を利用した際にかかるコストが不安である。
- ・ エコフィード認証制度を消費者へ受け入れられる形で確立して欲しい。
- ・ 食品残さと同様、飼料として利用するには肉質への影響が一番心配なのですぐには利用出来ない。
- ・ 認証制度についてセミナー等開催して詳しく説明して頂ける場を設けて欲しい。
- ・ エコフィードという名称が一般消費者に受け入れられる名称なのかが不安である。

[設問5]食品残さ利用の現状について

1 利用している食品残さの種類と入手先について

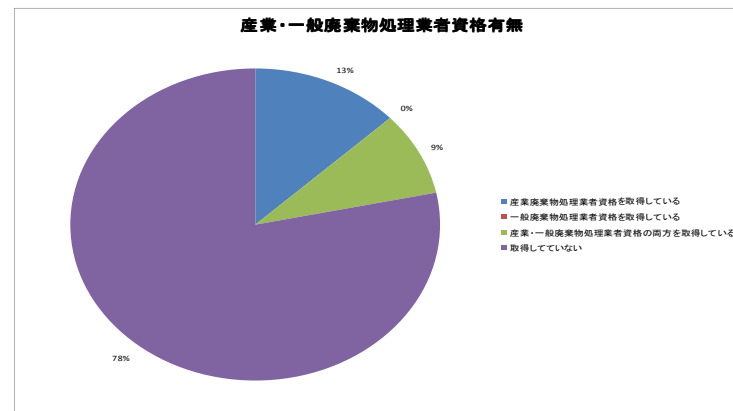
有効回答戸数56戸の延べ回答数69（複数回答）のうち、現在利用している食品残さの種類と入手先については以下のとおりで、「食品工場残さを中間業者経由で入手」しているとする回答が最も多かった。

また、経由している中間業者の内訳としては食品工場残さは一般廃棄物割合が多く、食品工場外残さについては産業廃棄物のみであった。



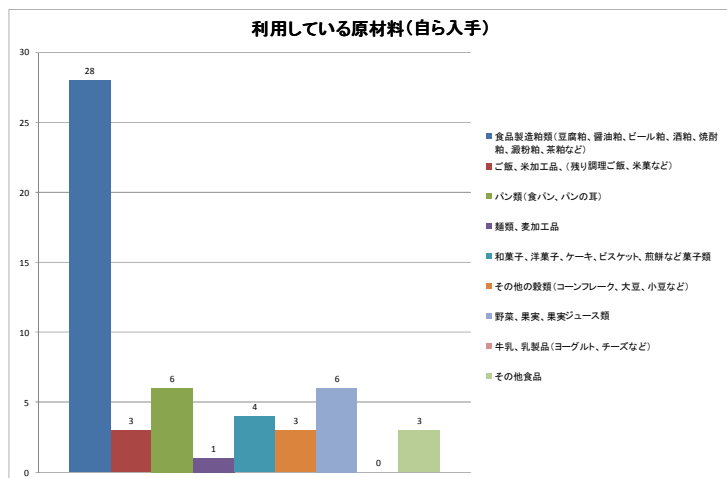
2 直接入手している食品残さの内容について

①産業廃棄物処理業者及び一般廃棄物処理業者資格の有無については以下のとおり。



②利用している食品残さの原材料の種類について

有効回答数33戸の延べ回答数54（複数回答）のうち、利用されている食品残さの原材料の種類については以下のとおりで、食品製造粕類を利用しているとする回答が最も多い。

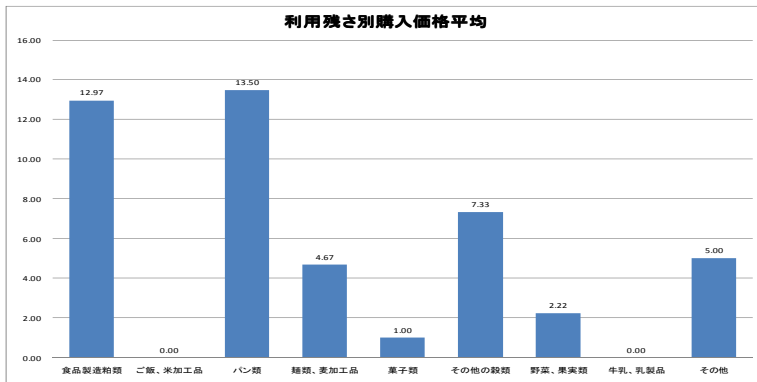


③食品残さの購入時単価及び利用方法について。

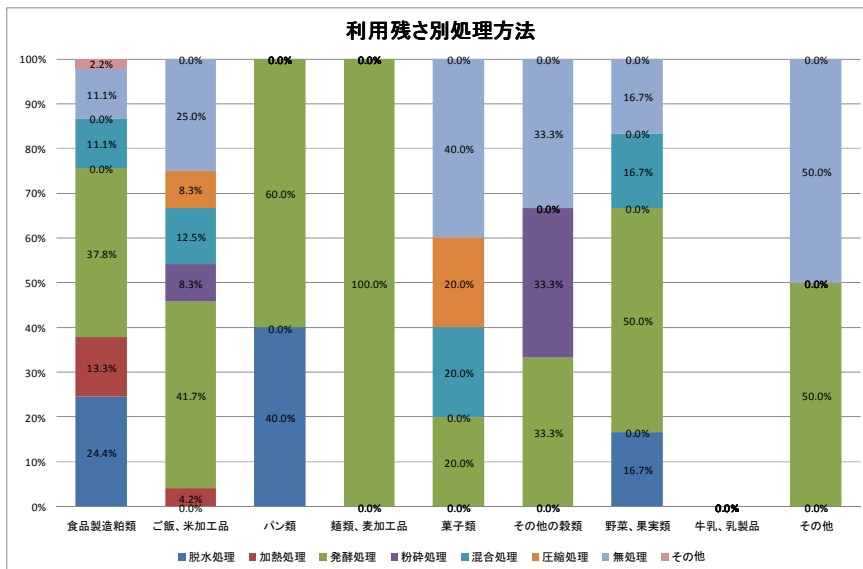
有効回答戸数41戸の延べ回答数60（複数回答）のうち、利用されている食品残さの原材料ごとの購入価格については以下のとおりで、「ご飯、米加工品」については無償で入手しているとの回答であった。

(円)

	平均価格	最小価格	最大価格
食品製造粕類	12.9	0	30
ご飯、米加工品	0	0	0
パン類	13.5	2	32
麺類、麦加工品	4.6	0	14
菓子類	1.0	0	3
その他の穀類	7.3	3	12
野菜、果実類	2.22	0	10
牛乳、乳製品	-	-	-
その他	5	0	10



また、購入した食品残さの処理方法については以下のとおり。



④食品残さ処理施設の有無について。

原材料として入手した食品残さを加工処理する施設の所有については、有効回答戸数13戸から21（複数回答）の回答があった。

所有されている施設及びその設置費用については以下のとおり。

(円)

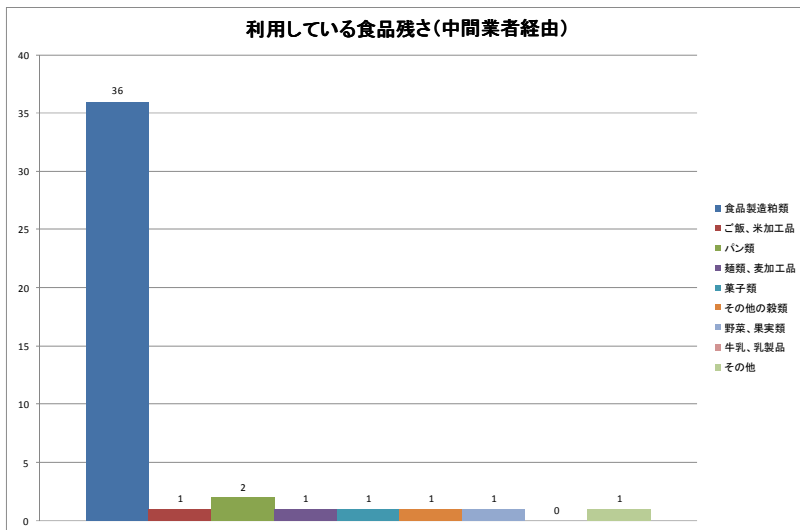
施設名	平均価格	最小価格	最大価格	回答数
発酵処理施設	33,932,166	3,000,000	109,593,000	7
粉碎処理施設	2,750,000	500,000	8,000,000	4
混合処理施設	14,750,000	1,000,000	25,000,000	6
圧縮処理施設	156,666	20,000	400,000	4

2 中間業者経由で入手している食品残さの内容について

回答戸数39戸の延べ回答数43（複数回答）のうち、利用されている食品残さの原材料の種類については、「自ら入手」と同様に食品製造粕類が最も多い。

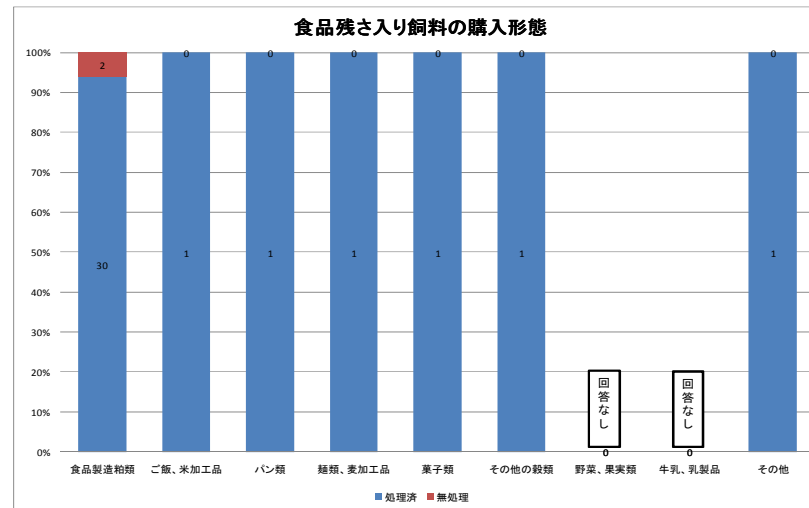
購入時の形態については38の延べ回答のうち、未処理のものよりも加工処理済みのものを購入しているとする回答が36戸（92%）と多かった。

また、価格について39の延べ回答があり、内容については以下のとおり。



(円)

	平均価格	最小価格	最大価格	回答数
食品製造粕類	15.2	2.5	32	36
ご飯、米加工品	17	17	17	1
パン類	21	10	32	2
麺類、麦加工品	14	14	14	1
菓子類	1	1	1	1
その他の穀類	7	7	7	1
野菜、果実類	-	-	-	0
牛乳、乳製品	-	-	-	0
その他	20	20	20	1

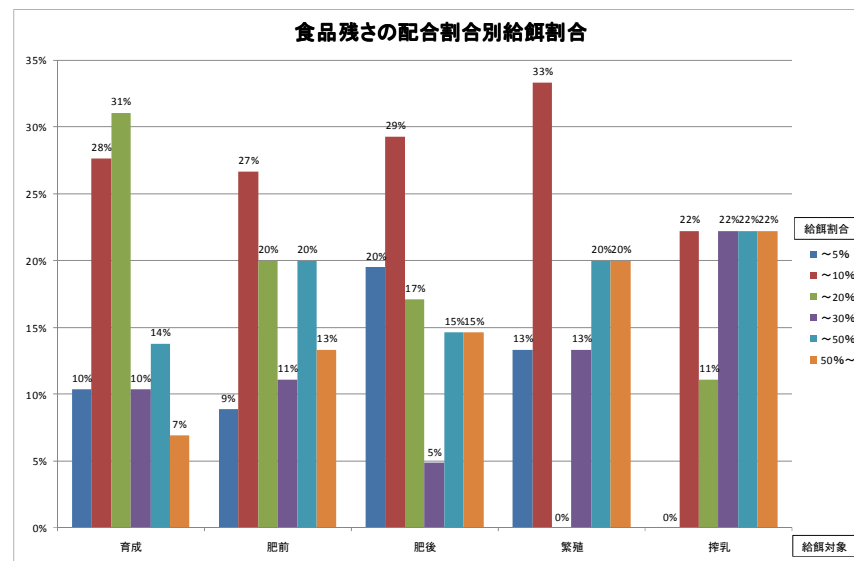
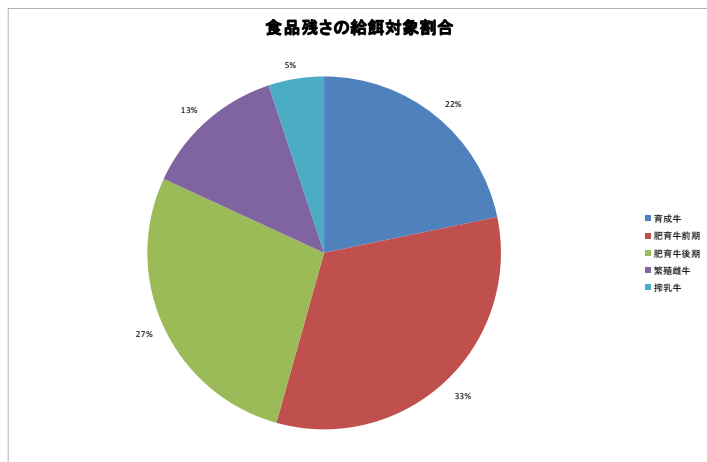


4 給餌対象について

有効回答戸数55戸より138の延べ回答(複数回答)があった。食品残さの給餌対象について、肥育牛前期が45戸と最も多く、次いで肥育牛後期、育成牛となっている。

給餌飼料における食品残さの配合割合については、搾乳牛が最も多く平均26.4%の配合割合となっており、肥育牛後期が平均15.6%と最も少ない。

また、給餌対象ごとに最も多い配合割合としては、育成牛は10~20%が最も多く、肥育牛前期、肥育牛後期及び繁殖牛では5~10%が多く、搾乳牛においては20%以上が7割弱を占めている。

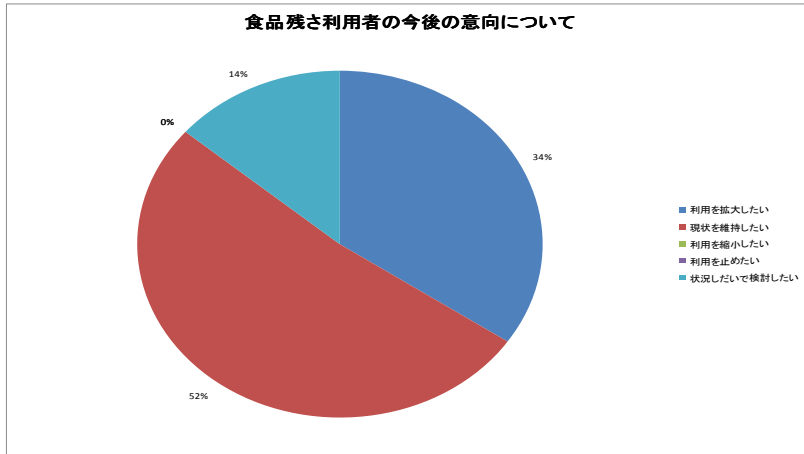


給餌飼料における残さ割合 (%)

	平均	最小	最大	回答戸数
育成	22.2%	5%	80%	30
肥前	29.6%	1%	100%	45
肥後	15.6%	0.1%	50%	38
繁殖	31.9%	0.1%	90%	18
搾乳	26.4%	10%	50%	7

5 食品残さ利用者の飼料利用に対する今後の意向について

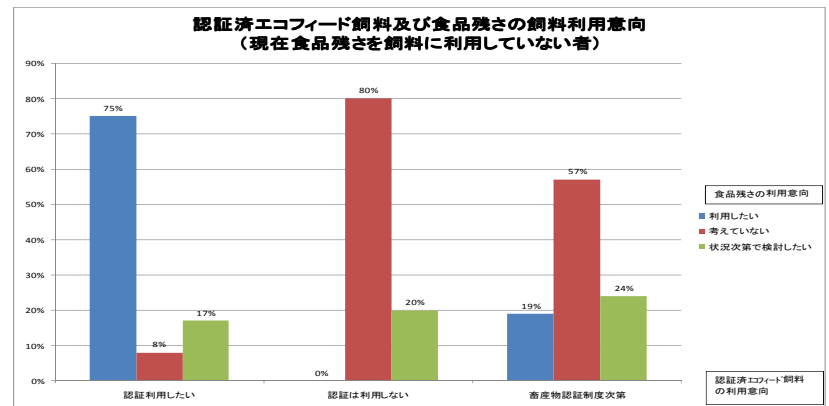
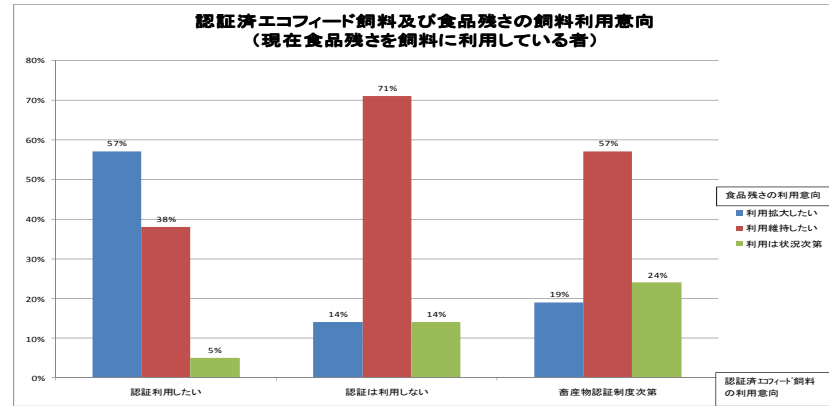
有効回答数 58 戸のうち、食品残さの飼料への利用に対する今後の意向についての回答は以下のとおりで、「現状を維持したい」とする意見が最も多く、「利用を縮小したい」及び「利用を止めたい」とする回答はなかった。



(回答戸数 (割合))

利用を拡大したい	20 戸(34%)
現状を維持したい	30 戸(52%)
利用を縮小したい	0 戸(0%)
利用を止めたい	0 戸(0%)
状況次第で検討したい	8 戸(14%)

なお、設問 4 の 4 における認証されたエコフィードの飼料利用についての回答における食品残さ利用者及び未利用者の内訳については以下のとおりとなっている。



以上